

第2期鳥取市創生総合戦略の令和3年度実績について

1. 基本目標の達成状況

柱	基本目標	内部評価							外部評価					
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑥未達成	①または②の割合	⑤評価対象外※4	A	B	C	D	AまたはBの割合	⑤評価対象外※4
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2		計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3	
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	0	1	0	0	0	100.0%	2	0	1	0	0	100.0%	2
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	1	2	0	0	0	100.0%	0	1	2	0	0	100.0%	0
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	1	3	1	0	0	80.0%	2	0	4	1	0	80.0%	2
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	0	2	1	0	1	50.0%	1	0	2	2	0	50.0%	1
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	2	0	0	0	0	100.0%	3	2	0	0	0	100.0%	3
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	1	1	0	0	0	100.0%	0	0	2	0	0	100.0%	0
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	0	0	1	0	0	0.0%	4	0	0	1	0	0.0%	4
合計		5	9	3	0	1	82.4%	12	3	11	4	0	77.8%	12

2. KPI（重要業績評価指標）の達成状況

柱	基本目標	内部評価							外部評価					
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑥未達成	①または②の割合	⑤評価対象外※4	A	B	C	D	AまたはBの割合	⑤評価対象外※4
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2		計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3	
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	5	2	0	0	1	87.5%	0	6	1	1	0	87.5%	0
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	1	4	0	1	0	83.3%	1	1	4	0	1	83.3%	1
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	7	5	3	10	0	48.0%	0	7	5	4	9	48.0%	0
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	6	3	2	1	0	75.0%	0	3	6	3	0	75.0%	0
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	5	4	3	1	0	69.2%	0	3	6	4	0	69.2%	0
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	3	2	2	2	0	55.6%	0	2	3	3	1	55.6%	0
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	5	4	1	2	0	75.0%	1	3	6	3	0	75.0%	1
合計		32	24	11	17	1	66.7%	2	25	31	18	11	65.9%	2

- ※1 指標の特性上「できた」「できなかった」で評価したもののうち、「できなかった」に属するもの
 ※2 ①「順調/達成」または②「概ね順調」の割合（①②÷①②③④⑥）
 ※3 A「計画どおり」またはB「ほぼ計画どおり」の割合（AB÷ABCD）
 ※4 今回評価の対象ではないもの（令和6年度実施予定の市民アンケート調査を指標としているものなど）

第2期創生総合戦略の施策評価について

●内部評価について

- 各施策の令和3年度の実績を踏まえ、達成率や取組の状況、評価区分（①順調 ②概ね順調 ③やや遅延 ④遅延 ⑤評価対象外 ⑥未達成）、担当課意見を内部評価としてまとめています。
- 達成率は令和3年度実績／年次目標値により算出しています。
- 達成率で評価できないものは、指標に対する令和3年度実績（取組状況）を踏まえ評価しています。

<評価の目安>

(パターンA) 年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分	達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
① 順 調	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和3年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
② 概 ね 順 調	80%~99%	
③ や や 遅 延	60%~79%	
④ 遅 延	0%~59%	
⑤ 評 価 対 象 外	—	当該年度の年次目標値が設定できないものは「評価対象外」とし、令和3年度の実績状況を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等について記載しています。

(パターンB) 指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分	達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
① 達 成	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和3年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
⑥ 未 達 成	0%~99%	

●総合企画委員評価（外部評価）について

評価区分	評価の内容
A	計画以上に進捗しており、十分評価できる。今後も継続して施策の推進に努めてほしい。
B	ほぼ計画通りに進捗しており、一定の評価はできる。今後も計画以上の進捗に向け施策の推進に努めてほしい。
C	目標をやや下回る要因の分析を要する。今後の進め方を再度検討する必要がある。
D	目標を大きく下回っており、その要因の分析と施策の見直しが必要である。

(参考) 第2期鳥取市創生総合戦略の施策体系

I	S.V.U.S	【基本目標Ⅰ－１】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり <input type="checkbox"/> 結婚・出産・子育て支援	
		【基本目標Ⅰ－２】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり <input type="checkbox"/> 教育の充実・郷土愛の醸成 <input type="checkbox"/> 生涯学習の推進	
II	S.V.U.S	【基本目標Ⅱ－１】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり <input type="checkbox"/> 持続可能な経済成長の実現 <input type="checkbox"/> 工業の振興 <input type="checkbox"/> 商業とサービス業等の振興 <input type="checkbox"/> 農林水産業の成長産業化	
III	S.V.U.S	【基本目標Ⅲ－１】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり <input type="checkbox"/> ふるさと・いなか回帰の促進 <input type="checkbox"/> 滞在型観光の推進 <input type="checkbox"/> シティセールスの推進 <input type="checkbox"/> 文化芸術によるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 自治体間連携の推進	【基本目標Ⅲ－２】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり <input type="checkbox"/> 生活基盤の充実 <input type="checkbox"/> 中心市街地の活性化 <input type="checkbox"/> 魅力ある中山間地域の振興 <input type="checkbox"/> 交通ネットワークの充実 <input type="checkbox"/> 地域情報化の推進
		【基本目標Ⅲ－３】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり <input type="checkbox"/> スポーツ・レクリエーションの振興 <input type="checkbox"/> 健康づくり・疾病予防・介護予防の推進	【基本目標Ⅲ－４】誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり <input type="checkbox"/> 協働のまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 地域福祉のまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 超高齢社会に向けたまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 多文化共生のまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 地域防災力の向上

3. 評価指標ごとの達成状況

【柱1】次世代の鳥取市を担うひとづくり

【基本目標1-1】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
数値目標	1	鳥取市の合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子どもの平均数として算出された当該年の人口統計上の数値。	目標値(単年)	-	-	-	1.57	1.60	1.62	1.65	1.67	② 概ね 順調	合計特殊出生率は平成30年以降、おおむね1.5前後で推移しており、令和3年は市試算値で1.49となった。合計特殊出生率を下げる要因として、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数減少が考えられ、それぞれが「結婚への意欲・機会の減少」「経済的・生活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難さ」「育児負担の重さ」などの影響を受けていると考える。少子化の要因をしっかりと踏まえて、各種対策を立案・実施し、長期的な視点で少子化対策に総合的に取り組んでいく。 ※令和3年の県内市町村別の合計特殊出生率の県公表は、今年度後半以降になる見込みのため、評価は市試算値で実施する。	地方創生・デジタル化推進室	B	
				実績値(単年)	-	1.50	1.48	1.54	1.49								
				達成率	%	-	-	-	94.9%								
	2	「子育てを楽しみ」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	70.0	-	⑤ 評価 対象 外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども家庭課	評価 対象外
				実績値(単年)	%	-	66.0	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
	3	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で「子育てしやすい(子育てしやすい)」と回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価 対象 外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。今後も多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども家庭課	評価 対象外
				実績値(単年)	%	-	61.5	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					

【重点施策】結婚・出産・子育て支援

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	R3～7年度の麒麟のまち婚活サポートセンター登録者の成婚数の累計。	目標値(単年)	組	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	目標値は達成したが、結婚を望む人の希望をかなえられるよう、麒麟のまち圏域の各市町で連携を図りながら、イベント内容の見直しやSNS等を活用した情報発信に取り組むとともに、カップル成立後のフォローアップに重点的に取り組む。	政策企画課	A
				目標値(累計)	組	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値(単年)	組	-	6	8	7								
				実績値(累計)	組	-	-	-	7								
				達成率	%	-	-	-	116.7%								
KPI	5	妊婦相談率	当該年度に妊婦が妊娠期に保健師等に相談した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	② 概ね順調	妊娠期から安心して子育て期を迎えられるよう妊娠・出産・育児に関する情報を継続して提供し、妊婦本人が来所しない場合には、後日電話での相談実施を行う。妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行い、孤立を防ぎ安心して子育てできるように継続して支援していく。	健康・子育て推進課	A
				実績値(単年)	%	-	99.7	100	99.8								
				達成率	%	-	-	-	99.8%								
KPI	6	新生児訪問の訪問率	当該年に保健師等が生後4か月未満の新生児を訪問した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	② 概ね順調	孤立せず安心して子育てができるよう支援している。訪問ができなかった理由として、入院中だったり、出生後早期に転出、拒否されたため等である。またコロナ蔓延のため里帰り期間が延び、生後4か月未満での訪問ができなかった。生後4か月以降に訪問し状況を確認したり、訪問できない場合は、来所や電話等で状況把握に務めている。今後も継続して実施する。	健康・子育て推進課	B
				実績値(単年)	%	-	98.9	98.0	97.1								
				達成率	%	-	-	-	97.1%								
KPI	7	保育園の待機児童数(4月1日現在)	当該年度の4月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	① 達成	4月1日現在における待機児童はゼロを継続している。今後も施設整備等の支援や個別に入園調整を行うことで、保育ニーズに沿った児童の受け入れを進め、待機児童ゼロを継続していく。	こども家庭課	A
				実績値(単年)	人	0	0	0	0								
				達成率	-	-	-	-	達成								
KPI	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	当該年度の10月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	⑥ 未達成	10月1日現在における待機児童数は目標値を達成できなかった。年度中途の保育ニーズは低年齢化が進んでおり、受入れには施設整備に加え職員確保が課題であることから、今後も引き続き保育ニーズに沿った受け皿を確保する取組を進めていく。	こども家庭課	C
				実績値(単年)	人	33	20	20	26								
				達成率	-	-	-	-	未達成								

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	9	ファミリー・サポート・センターの提供会員及び両方会員数	会員は、①育児の援助を受けたい人(依頼会員)と②育児の援助を行いたい人(提供会員)及び③そのどちらも会員登録をした人(両方会員)があり、当該年度末の②及び③の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	97	98	99	100	100以上	① 順調	提供会員、両方会員共に緩やかではあるが増加している。相互援助活動による育児負担の軽減と仕事の両立が図られるためには、提供会員、両方会員の確保が必要であることから、引き続き取り組みを進めていく。	こども家庭課	A
				実績値(単年)	人	91	96	105	110								
				達成率	%	-	-	-	113.4%								
KPI	10	療育事業に継続参加した幼児・保護者の満足度	発達相談から療育事業につながった幼児の継続した療育事業終了時のアンケートで、「満足」「ほぼ満足」と回答した保護者の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	80	85	90	95	100	① 順調	専門のスタッフによる親子通所療育、小集団療育を実施し、療育事業終了時のアンケートで、「満足」と回答した保護者の割合が100%だった。発達支援を必要とされる幼児、保護者からのニーズは高いものと考え、今後もより一層療育の充実を図っていく。	こども発達支援センター	A
				実績値(単年)	%	-	-	100	100								
				達成率	%	-	-	-	125.0%								
KPI	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいると市が認定している当該年度末の企業数。	目標値(単年)	件	-	-	-	39	42	45	48	50	① 順調	認定した企業数は、目標を達成しているものの継続して周知を行う必要がある。改正育児・介護休業法が施行され、企業の努力が今後一層求められている。 引き続き、働く場における女性活躍を推進するとともに、男性の家事・育児の参加を促すため、企業への意識改革や働き方の見直しなど、企業に対する啓発を推進する必要がある。	男女共同参画課	A
				実績値(単年)	件	-	-	36	44								
				達成率	%	-	-	-	112.8%								

【基本目標1-2】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値(単年)	%	-	-	-	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	② 概ね順調	異学年の友だちとの縦割り活動、ゲストティーチャーや地域のボランティアの方々との交流や学習を通じて、多様な他者とのかかわりの中で自己有用感を感じられる学習を推進する。また、よりよい学級や学年、学校づくりのために、自分たちで課題を見つけ出し、自分たちの力で解決するなど自発的・自治的な活動を充実させ、自治力のある集団づくりを推進する。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	45.7	46.4	調査なし	50.8								
				達成率	%	-	-	-	90.7%								
	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値(単年)	%	-	-	-	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	① 順調	異学年の友だちとの縦割り活動、ゲストティーチャーや地域のボランティアの方々との交流や学習を通じて、多様な他者とのかかわりの中で自己有用感を感じられる学習を推進する。また、よりよい学級や学年、学校づくりのために、自分たちで課題を見つけ出し、自分たちの力で解決するなど自発的・自治的な活動を充実させ、自治力のある集団づくりを推進する。	学校教育課	A
				実績値(単年)	%	38.8	42.0	調査なし	45.9								
				達成率	%	-	-	-	112.0%								
	14	生涯学習講座の参加者の満足度	当該年度実施の生涯学習講座参加者アンケートで、受講内容について「大変満足」または「満足」と回答した参加者の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0	② 概ね順調	生涯学習講座を麒麟のまちアカデミーとして今後も一体的に運営し、参加者のニーズを講座内容に反映させながら、講座内容の満足度の向上を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	B
				実績値(単年)	%	-	83.0	57.0	83.3								
				達成率	%	-	-	-	98.0%								

【重点施策】教育の充実・郷土愛の醸成

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	グローバル化や情報化に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。また、授業力を高める研修や育成プログラムを充実させ、教師力の向上を図る。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	87.5	88.2	88.8	88.8								
				達成率	%	-	-	-	98.7%								
KPI	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0	① 順調	グローバル化や情報化に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。また、授業力を高める研修や育成プログラムを充実させ、教師力の向上を図る。	学校教育課	A
				実績値(単年)	%	80.0	80.2	81.1	82.9								
				達成率	%	-	-	-	101.1%								
KPI	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	すべての児童生徒が自らの能力や可能性を最大限に伸ばすため、教育の機会を確保し、一人ひとりの実情やニーズに応じた教育の充実を図るとともに、不登校やその傾向にある児童生徒、配慮や支援を必要とする児童生徒の教育を保障し、適切な支援を行う。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	89.5	87.8	89.1	89.5								
				達成率	%	-	-	-	99.4%								
KPI	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0	② 概ね 順調	すべての児童生徒が自らの能力や可能性を最大限に伸ばすため、教育の機会を確保し、一人ひとりの実情やニーズに応じた教育の充実を図るとともに、不登校やその傾向にある児童生徒、配慮や支援を必要とする児童生徒の教育を保障し、適切な支援を行う。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	86.9	88.3	89.3	87.5								
				達成率	%	-	-	-	98.3%								

【重点施策】生涯学習の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	19	地区公民館事業の取組評価	当該年度実施の地区公民館事業自己評価において、中程度より高いと回答した事業の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	100	100	100	100	⑤ 評価対象外	令和4年度より、生涯学習事業実績報告に「生涯学習事業自己評価・点検シート」による自己評価の導入を行う。自己評価による実施事業内容の振り返りを行い、次年度事業の取組に反映させていきたい。	生涯学習・スポーツ課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	-	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-						
KPI	20	地区公民館への専門職員の配置割合	当該年度末の社会教育士または社会教育主事任用資格を持つ者が配置された地区公民館の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	15.0	20.0	30.0	35.0	40.0	② 概ね順調	資格取得に1か月間の講習を受講する必要があるが、地区公民館業務と調整しながら参加することとなる。資格取得が行いやすくなるよう、勤務条件の整備を行いながら、引き続き積極的な参加を促進していきたい。	生涯学習・スポーツ課	B
				実績値(単年)	%	-	12.0	12.0	12.0	-	-						
				達成率	%	-	-	-	80.0%	-	-						
KPI	21	地域学校協働本部の設置数	地域学校協働本部を設置した当該年度末の小・中・義務教育学校区数。	目標値(単年)	校区	-	-	-	10	14	14	30	43	④ 遅延	実施地域によっては、本部設置をどのように行うか、疑問や負担感を感じていると考えられる。積極的に地域に出向き、本部設置に係る助言・指導を行いながら丁寧に対応し、設置拡大につなげていきたい。	生涯学習・スポーツ課	D
				実績値(単年)	校区	-	1	1	3	-	-						
				達成率	%	-	-	-	30.0%	-	-						

【柱Ⅱ】誰もが活躍できるしごとづくり

【基本目標Ⅱ-1】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
数値目標	22	就業者1人あたりの市内GDP	就業者1人当たりの当該年度の市町村内総生産(名目)の本市の値。	目標値(単年)	千円	-	6,800	6,970	7,140	7,310	7,478			⑤ 評価対象外	現時点で判明していないため評価対象外。	経済・雇用戦略課	評価対象外
				実績値(単年)	千円	6,710											
				達成率	%	-											
	23	大学生県内就職率	当該年度の県内2大学(学部卒)の全就職内定者のうち県内就職内定率。	目標値(単年)	%	-	-	-	25.0	25.8	26.6	27.4	28.2	③ やや遅延	オンライン面接などデジタル技術を活用した採用活動が広く浸透する中で地元企業が対応しきれない課題がある。DX推進と合わせて、コロナ禍を背景とした地方移転と東京への一極集中是正の動きを捉えながら、地元企業の魅力発信などの人材確保の取組を総合的に支援していく必要がある。	経済・雇用戦略課	C
				実績値(単年)	%	23.4	21.3	17.2	17.7								
				達成率	%	-	-	-	70.8%								
	24	市内製造品出荷額等	当該年の工業統計調査(経済産業省)による製造品出荷額等の本市の値。	目標値(単年)	億円	-	2,726	2,617	2,669	2,749	2,867			② 概ね順調	コロナ禍の全国的な経済停滞の影響により地元製造業の受注量は減少し、指標実績値は低調が続いていると考えられる。経済情勢や企業ニーズに対応した支援策にシフトさせながら積極的な企業支援を行っていく。	企業立地・支援課	B
				実績値(単年)	億円	2,811	2,707										
達成率				%	-	99.3%											
25	市内事業所数	当該年の経済センサス(基礎・活動)調査における事業所数の本市の値。	目標値(単年)	件	-	-	-	8,882	-	-	9,018	-	⑤ 評価対象外	現時点で判明していないため評価対象外。	企業立地・支援課	評価対象外	
			実績値(単年)	件	-	9,996	-	-	-	-	-						
			達成率	%	-	-	-	-	-	-	-						
26	市内農業産出額	農林水産省が生産農業所得統計により推計した当該年の市町村別農業産出額の本市の値。	目標値(単年)	億円	-	-	130	130	136	143	150		① 順調	令和元年度には令和6年度目標の150億円を超える152億円を達成し、令和2年度も同水準を維持することができた。令和3年度数値は12月の公表に向け集計中だが、新型コロナウイルス感染症や国際情勢の影響による、米価の下落や燃油、物価の高騰が本市の農業に影響を与えていると考えられる。今後より一層、経費の削減や農業所得向上に資する支援策の強化が必要と考える。	農政企画課	B	
			実績値(単年)	億円	129	152	152										
			達成率	%	-	-	116.9%										
27	市内木材搬出量	当該年度の林業経営体の経営計画に基づく市内の間伐木材搬出量。	目標値(単年)	m³	-	-	-	43,303	45,478	47,652	49,826	52,000	② 概ね順調	令和3年度は豪雨等による林道等の被災に係る復旧に時間を要したことの影響により目標を下回ったと考えられる。適正な森林管理には間伐施業が不可欠であり、また、木質バイオマス燃料への活用等県産材の有効利用を促進するため、今後も継続して実施する。	林務水産課	B	
			実績値(単年)	m³	-	38,955	39,381	34,915									
			達成率	%	-	-	-	80.6%									
28	市内漁獲量	当該年の海水面漁業の市内漁獲量。	目標値(単年)	t	-	-	-	2,203	2,203	2,203	2,203	2,203	② 概ね順調	漁業者数の減少や高齢化、新型コロナウイルス等の影響による魚価の低迷、燃油価格高騰による漁業経営の圧迫といった要因により漁獲量が減少していると思われる。今後、漁業者の減少が見込まれるが、現状維持をめざす。	林務水産課	B	
			実績値(単年)	t	-	2,203	2,127	1,968									
			達成率	%	-	-	-	89.3%									

【重点施策】持続可能な経済成長の実現

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	R3～7年度の立地促進補助金（所得向上メニュー）指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	④ 遅延	コロナ禍の全国的な経済停滞の影響により地元製造業の受注量は減少し、指標実績値は低調が続いていると考えられる。経済情勢や企業ニーズに対応した支援策を検討しながら積極的な企業支援を行っていく。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	千円	-	-	-	200,000	400,000	600,000	800,000	1,000,000				
				実績値(単年)	千円	-	177,000	0	0								
				実績値(累計)	千円	-	-	-	0								
				達成率	%	-	-	-	0.0%								
KPI	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	R3～7年度のインターネットショップの売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	26,692	30,695	35,299	40,595	46,683	① 順調	新型コロナウイルス感染症関係臨時交付金を活用したキャンペーン（4月～12月）による売上増加の効果があり、目標値を大幅に上回った。サイトの信頼性・安全性を確保する前提で、キャンペーンのみに頼らず売上を確保していくため、固定層の増加、新規顧客層への誘客施策の展開が必要である。その一環として、麒麟のまち圏域の商品出品をより促進し、魅力のある商品構成を図っていく。	経済・雇用戦略課	A
				目標値(累計)	千円	-	-	-	26,692	57,387	92,686	133,281	179,964				
				実績値(単年)	千円	-	23,210	63,616	111,405								
				実績値(累計)	千円	-	-	-	111,405								
				達成率	%	-	-	-	417.4%								
KPI	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	R3～7年度のインターンシップ参加者のうち、市内に就業した人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	2	2	2	2	2	④ 遅延	コロナ禍により、留学生側・受入企業側双方に影響があり、インターンシップ事業は中止を余儀なくされているが、同事業で行っているセミナーを個別開催するなど、定例的な開催ではなく、適宜開催が可能となるようスキームを改善した。今後は、国際経済発展協議会のスタッフによる双方への働き掛けを強化し、事業を推進していく。	経済・雇用戦略課	D
				目標値(累計)	人	-	-	-	2	4	6	8	10				
				実績値(単年)	人	-	2	0	0								
				実績値(累計)	人	-	-	-	0								
				達成率	%	-	-	-	0.0%								
KPI	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	R3～7年度の市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	10	10	10	10	10	④ 遅延	コロナによる水際対策で外国人の入国規制がかかり、第3期生の入学が令和3年度中にできなかった。令和3年度に入学予定だった学生は令和4年度入学にずれ込んだため、令和4年度の実績に合算される。今後も日本語学校の支援を継続し、市内企業の人材確保を推進する。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	人	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値(単年)	人	-	10	9	0								
				実績値(累計)	人	-	-	-	0								
				達成率	%	-	-	-	0.0%								

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	33	まちづくり投融資制度（投資・融資）の活用実績額の累計	R3～4年度のまちづくり投融資制度を活用した企業・創業に係る投資・融資の活用実績の合計額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	97,000	97,000	-	-	-	④ 遅延	コロナ禍においてコロナ対策の金融制度が充実していた背景があり、指標実績値は低調が続いていると考えられる。コロナ向け資金等の扱いが終了となり、本事業の活用促進も促すことができると考えられるため、関係各所と連携し支援を行っていく。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	千円	-	-	-	97,000	194,000	-	-	-				
				実績値(単年)	千円	-	72,000	54,000	0								
				実績値(累計)	千円	-	-	-	0								
				達成率	%	-	-	-	0.0%								
KPI	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	R3～7年度の第三者承継を行うため専門家に相談する企業に対する補助金交付件数の累計。	目標値(単年)	社	-	-	-	10	10	10	10	10	④ 遅延	制度の周知が十分でなく、本制度を把握していない事業者も多いと推測される。ただ、鳥取県の後継者不在率は74.9%と全国1位の高水準（帝国データバンク調べ2021）にあり、潜在的に支援を必要としている事業者は多いと考えられる。支援の継続により市内事業所の維持・発展を促し、若者の地元就職における選択肢の確保につなげる。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	社	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値(単年)	社	-	-	5	4								
				実績値(累計)	社	-	-	-	4								
				達成率	%	-	-	-	40.0%								
KPI	35	農商工連携マッチング支援事業者数の累計	R3～7年度の農商工連携マッチング委託事業における支援事業者数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	25	25	25	25	25	② 概ね順調	県外への営業活動や対面での営業活動が困難な中、オンライン面談など他の方法に振り替えるよう検討し、実行できた。今後も委託先の商工会議所と連絡を取りながら、新たな施策を検討するなど、さらなるマッチング支援を図る。	企業立地・支援課	B
				目標値(累計)	件	-	-	-	25	50	75	100	125				
				実績値(単年)	件	-	25	29	24								
				実績値(累計)	件	-	-	-	24								
				達成率	%	-	-	-	96.0%								

【重点施策】工業の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	R3～7年度の立地促進補助金指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値(単年)	億円	-	-	-	50	50	50	50	50	③ やや遅延	コロナ禍の景気低迷により企業の設備投資も計画が遅延・中止が発生し、指標実績値は伸び悩んだ。その中でも設備投資を促進するため、補助要件の緩和など実情に合ったメニューの検討を行いながら、企業の生産性向上や雇用促進を図る。	企業立地・支援課	C
				目標値(累計)	億円	-	-	-	50	100	150	200	250				
				実績値(単年)	億円	-	50.2	169.5	35.7								
				実績値(累計)	億円	-	-	-	35.7								
				達成率	%	-	-	-	71.4%								
KPI	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	R3～7年度の鳥取市産学官連携地域経済活性化事業補助金活用件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	1	1	1	1	1	④ 遅延	コロナ禍による経済活動の鈍化も要因と考えられるが、令和元年度以降利用実績がない。事業者のニーズと学術研究機関のシーズをいかにしてマッチングさせ、新たな価値を創造していくか検討していく。	経済・雇用戦略課	D
				目標値(累計)	件	-	-	-	1	2	3	4	5				
				実績値(単年)	件	-	0	0	0								
				実績値(累計)	件	-	-	-	0								
				達成率	%	-	-	-	0%								
KPI	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	R3～7年度の鳥取市国際経済発展協議会における地元企業の貿易相談等、マッチング支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	177	177	177	177	177	④ 遅延	コロナ禍であり、企業のマインドを含め、積極的な展開を行うことが難しかった点を踏まえ、アフターコロナに向け、支援件数の増加だけでなく、支援内容の深度を図るため、スタッフの育成と海外での積極的な渉外を行い、市内中小企業の海外展開を積極的に支援していく。	経済・雇用戦略課	D
				目標値(累計)	件	-	-	-	177	354	531	708	885				
				実績値(単年)	件	-	161	151	103								
				実績値(累計)	件	-	-	-	103								
				達成率	%	-	-	-	58.2%								

【重点施策】商業とサービス業等の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	39	新規のオフィス設置数(市関与分)の累計	R3~7年度の市が関与した県外からのオフィスの新築・移転件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	2	2	2	2	2	④ 遅延	県外での誘致活動が制限される中、県外企業との接触の機会が減ったことにより指標実績値は伸び悩んだと考えられる。オンライン面談の促進や施策の情報発信などを行い、本市へのオフィス移転の促進を図る。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	件	-	-	-	2	4	6	8	10				
				実績値(単年)	件	-	0	1	1								
				実績値(累計)	件	-	-	-	1								
				達成率	%	-	-	-	50.0%								
KPI	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	R3~7年度の鳥取市ふるさと物産館の売上金額を含む観光コンベンション協会の物産部門での売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	30,774	30,775	30,774	30,775	30,789	② 概ね順調	コロナ禍の影響により対面販売での店舗などの売上が低減しているため、インターネット販売を強化しており、その方向性を維持しつつ、アフターコロナに向け店舗そのものの魅力を向上させるため、参画する物産事業所数を増やしていく。同時に、県外を含む物産展への出展を、観光コンベンション協会の物産振興セクションが物販の適地を探し、収益を上げることで、まちバル鳥取の運営費を捻出できるよう促していくことも必要。	経済・雇用戦略課	B
				目標値(累計)	千円	-	-	-	30,774	61,549	92,323	123,098	153,887				
				実績値(単年)	千円	-	38,908	30,484	27,741								
				実績値(累計)	千円	-	-	-	27,741								
				達成率	%	-	-	-	90.1%								
KPI	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	R3~7年度の麒麟のまち関西情報発信拠点の飲食及び物販の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	77,026	77,025	77,026	77,025	77,026	④ 遅延	コロナ禍により、短縮営業はもとより、人流の回復に至らず、大幅な減少となった。物産+飲食店舗を同一事業者で行い、業務のスリム化はもとより、一体的なプロモーション活動が可能となる事業者を運営事業者とすべく公募を実施し選定。令和4年度より、新たな運営事業者による運営を行っている。	経済・雇用戦略課	D
				目標値(累計)	千円	-	-	-	77,026	154,051	231,077	308,102	385,128				
				実績値(単年)	千円	-	72,703	36,024	30,153								
				実績値(累計)	千円	-	-	-	30,153								
				達成率	%	-	-	-	39.1%								
KPI	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	R3~7年度の市公設地方卸売市場の卸売業者4社の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	② 概ね順調	経営戦略策定時(令和3年2月)では、建替えによる再整備を早期に実施し、品質管理はもとより、衛生管理や物流効率化を図ることで、安全性や効率化を向上させ、令和元年度水準の売上金額の維持を目標としている(再整備実施までは売上金額は減少する予測)。今後も、民間活力を導入しながら、早期の再整備を実現していくことが必要。	経済・雇用戦略課	B
				目標値(累計)	千円	-	-	-	7,340,755	14,681,510	22,022,265	29,363,020	36,703,775				
				実績値(単年)	千円	-	7,340,755	7,470,724	7,145,773								
				実績値(累計)	千円	-	-	-	7,145,773								
				達成率	%	-	-	-	97.3%								

【重点施策】農林水産業の成長産業化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)		
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)				
KPI	43	市内の新規農業担い手の累計	R3～7年度の市内の新規就農者、認定農業者の新規認定件数及び農業生産法人、集落営農組織などの新規設立件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	14	14	14	14	14	② 概ね順調	予定していた認定新規農業者1名について、農業研修期間を延長し、令和4年度の認定手続きにすることとしたため、目標を下回った。今後も、意欲ある新規就農希望者や集落営農組織を計画している集落への支援を行い、担い手の確保を図る。	農政企画課	B	
				目標値(累計)	件	-	-	-	14	28	42	56	70					
				実績値(単年)	件	-	-	10	17	13								
				実績値(累計)	件	-	-	-	13									
				達成率	%	-	-	-	92.9%									
KPI	44	市内の新規林業従事者数の累計	R3～7年度の市の研修事業実施に伴う市内の新規林業就業者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	全国的に林業労働者は減少傾向であり、高齢化率も高いなか、林業労働者の福祉向上、労働条件の改善を図り、担い手の育成を促進するため、社会保険料の支援等林業従事者の確保につながる支援を継続して実施する。	林務水産課	A	
				目標値(累計)	人	-	-	-	6	12	18	24	30					
				実績値(単年)	人	-	-	6	3	7								
				実績値(累計)	人	-	-	-	7									
				達成率	%	-	-	-	116.7%									
KPI	45	市内の新規漁業就業者数の累計	R3～7年度の市内の新規漁業就業者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	3	2	1	2	1	④ 遅延	研修内容によって研修期間が異なり(最長3年)就業者数は1名にとどまっているが、令和4年度4月時点で7名が研修を行っており、今後、就業者数は増加してくると考える。新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も継続して実施する。	林務水産課	C	
				目標値(累計)	人	-	-	-	3	5	6	8	9					
				実績値(単年)	人	-	-	0	1	1								
				実績値(累計)	人	-	-	-	1									
				達成率	%	-	-	-	33.3%									
KPI	46	市戦略作物の出荷量	当該年度の戦略作物のうち、3種(アスパラガス、ブロッコリー、生姜)の出荷量。	目標値(単年)	t	-	-	-	45	46	48	50	53	③ やや遅延	生産者の高齢化や担い手不足などにより生産量が減少し出荷量も減少したため、目標値を下回った。今後は、関係機関と連携をとりながら、品目の選定も含めた総合的な支援を検討するなど、農業者の所得向上につながるよう務める。	農政企画課	C	
				実績値(単年)	t	-	-	45	34	35								
				達成率	%	-	-	-	77.8%									
KPI	47	キジハタ漁獲量	当該年のキジハタ漁獲量。	目標値(単年)	t	-	-	-	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	③ やや遅延	漁業者数の減少や高齢化、新型コロナウイルス等の影響による魚価の低迷、燃油価格高騰による漁業経営の圧迫といった要因により漁獲量が減少していると思われる。今後も水産資源維持増殖のために継続支援が必要と考える。	林務水産課	C	
				実績値(単年)	t	-	-	4.9	5.1	3.5								
				達成率	%	-	-	-	71.4%									
KPI	48	担い手農家への農地集積率	R7年度の担い手農家への農地集積面積の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	26.3	29.7	33.1	36.5	40.0	② 概ね順調	担い手農家の減少や農業経営の規模を拡大する農業者が少なかったため、目標を下回った。今後、新規就農者や意欲ある農業者への農地集積に引き続き取り組んでいく。	農政企画課	B	
				実績値(単年)	%	25	23.4	22.9	22.2									
				達成率	%	-	-	-	84.4%									

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	49	森林経営計画等作成面積	当該年度の本市の森林経営計画及び経営管理集積計画作成面積。	目標値 (単年)	千ha	-	-	-	10	11	12	13	14	① 順調	森林は植林から伐採まで長期の時間を要し、計画的な施業が必要となる。また、効率的な林業施業を行うには、一定規模の森林面積が必要であり、森林の集約化のためにも森林経営計画の作成は必要である。森林経営管理法（平成30年制定）に基づく森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進とともに継続して実施する。	林務水産課	A
				実績値 (単年)	千ha	-	9	10	11								
				達成率	%	-	-	-	110.0%								
KPI	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	R3～7年度の生産者とバイヤー等消費者との農畜産物の商談成立件数（市関与分）の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	WEB商談など新しい商談方法を取り入れたことにより、商談件数および商談成立が増え、目標値を上回った。今後は、引き続き、(株)地域商社ととっとり連携した商談会の開催や催事等への出席により新たな販路開拓を積極的に行っていくとともに、首都圏や関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化への取組を推進していく。	農政企画課	A
				目標値 (累計)	件	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値 (単年)	件	-	7	7	10								
				実績値 (累計)	件	-	-	-	10								
				達成率	%	-	-	-	166.7%								
KPI	51	6次産業化取組支援件数の累計	R3～7年度の6次産業化の取組に対する支援件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	1	1	1	1	1	① 順調	新たに「もうかる6次化農商工連携支援事業プラン」が県に認定されたことから、令和3年度には2事業者に対し支援を行い、目標値を上回った。今後も、県・金融機関・商工団体等と連携し、所得向上に有効な6次産業化を推進していく。	農政企画課	A
				目標値 (累計)	件	-	-	-	1	2	3	4	5				
				実績値 (単年)	件	-	0	2	4								
				実績値 (累計)	件	-	-	-	4								
				達成率	%	-	-	-	400.0%								
KPI	52	多面的機能支払対象農用地面積の割合	当該年度末の農業振興地域内の農用地面積に占める多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	① 順調	近年、農業従事者の高齢化や農村地域の過疎化に伴う集落機能の低下等により、地域の共同活動によって支えられている農業・農村の有する多面的機能の発揮に支障が生じつつある。本事業は、地域資源の保全管理や施設の長寿命化のための活動といった農業・農村を守る地域共同の取り組みを後押しするものであり、今後も農業・農村の有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう、引き続き事業を推進していく必要がある。	農村整備課	A
				実績値 (単年)	%	-	49.2	49.2	50.2								
				達成率	%	-	-	-	100.4%								
KPI	53	スマート農業支援件数の累計	R3～7年度の先進技術の導入・実証などの取組への支援件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	2	2	2	2	2	① 順調	次世代事業推進事業の実証支援（2件）及びスマート農業実装加速化事業によるスマート農機導入支援（5件）を行ったことにより、目標を大きく上回った。今後は、スマート農業技術の普及を一層推進していくとともに、新たな農業の担い手の確保につなげ、本市の農業の振興を図っていく。	農政企画課	A
				目標値 (累計)	件	-	-	-	2	4	6	8	10				
				実績値 (単年)	件	-	2	35	7								
				実績値 (累計)	件	-	-	-	7								
				達成率	%	-	-	-	350.0%								

【柱Ⅲ】にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり

【基本目標Ⅲ-1】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)		
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)				
数値目標	54	移住定住者数	R3～7年度に本市に移住した人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	480	480	480	480	480	② 概ね順調	目標値には届かないものの、令和元年度・2年度の実績値を大きく上回る移住定住者数となった。令和3年度はわずかではあるが、都市部の企業に勤めたまま移住し、テレワークを行う「転職なき移住」など、コロナ禍による新しい形態も見られた。今後は、移住希望者への丁寧な相談対応の継続や、新たに整備した移住定住専用ポータルサイトによる情報発信を行うとともに、ワーケーション事業などの関係人口創出事業にも各部署で連携して取り組み、様々な形で移住の可能性も広げていきたい。	地域振興課	B	
				目標値(累計)	人	-	-	-	480	960	1440	1920	2400					
				実績値(単年)	人	-	-	359	389	462								
				実績値(累計)	人	-	-	-	462									
				達成率	%	-	-	-	96.3%									
	55	観光入込客数	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	300.0	302.5	305.0	307.5	310.0	③ やや遅延	年間観光入込客数は、前年度に比べ増加したものの、コロナ以前の水準までは回復していない。今後のコロナからの復興・再生を見据え、観光コンテンツの磨き上げや情報発信の強化等に取組む。	観光・ジオパーク推進課	C	
				実績値(単年)	万人	-	-	295.0	170.0	187.0								
				達成率	%	-	-	-	62.3%									
	56	市民愛着度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「本市に愛着や親しみを感じている」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価対象外	様々な手法の情報発信により市民のシティプライドを醸成し、市民の鳥取市への愛着度の向上につなげてきたが、引き続き市民愛着度の向上・深化につながる効果的な取組を検討する。 ※指標実績値が出ない年度のため、実績値入力なし。	政策企画課	評価対象外	
				実績値(単年)	%	-	-	61.5	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-					
	57	地域魅力度	ブランド総合研究所が行う当該年の地域ブランド調査結果	目標値(単年)	位	-	-	-	154	140	127	113	100	⑥ 未達成	実績値が年々下がっているため、庁内全体におけるシティセールス関連事業の取組状況を分析するとともに、これまで取り組んできた各種手法・情報発信を踏まえて、ブラッシュアップを図りながらより効果的な取組について検討する。	政策企画課	C	
				実績値(単年)	位	-	-	181	187	218								
				達成率	-	-	-	-	未達成									
	58	麒麟のまち圏域の人口	麒麟のまち圏域構成市町の当該年の国勢調査人口の合計値。 ※「現状値」は、県が発表する構成市町の10月1日の推計人口の合計値。	目標値(単年)	人	-	-	-	251,631	249,914	248,197	246,480	244,763	② 概ね順調	圏域内人口の減少率が策定時からの1年と比較し、増加傾向にあるため、圏域自治体間の更なる連携強化を図り、人口減少率の抑制につなげていく。 ※指標実績値が出ない年度のため、県が発表する令和3年10月1日の推計人口の合計値を使用している。	政策企画課	B	
				実績値(単年)	人	-	-	255,065	253,874	251,109								
達成率				%	-	-	-	99.8%										

【重点施策】ふるさと・いなか回帰の促進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	59	移住相談登録者数	本市への移住に向けて相談員によるサポートを希望するために相談登録を行った当該年度の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	200	250	320	400	500	② 概ね 順調	コロナ禍により、都市部での移住定住相談会に参加できないことを見込んだ目標値であったが、想定以上に登録者数が伸び悩んだ。これは、外出の自粛や対面による相談を避ける動きが影響したものと考えられる。今後については、昨年度に整備した移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」により、本市の移住に係る情報発信を強化していくとともに、令和2年度に整備したオンライン相談体制の活用や、再開が予定される対面での相談会への出展により移住相談登録者数の増加につなげていきたい。	地域振興課	B
				実績値(単年)	人	-	449	223	168								
				達成率	%	-	-	-	84.0%								
KPI	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	R3~7年度の移住希望者等が賃貸又は購入できる物件の登録件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	10	10	10	10	10	② 概ね 順調	空き家運営業務を実施する地域団体に積極的な空き家調査を行っていただいたことにより、ほぼ目標値どおりの物件登録数となった。中山間地域には移住希望者による利活用が見込める状態の空き家が存在する一方で、地域団体では所有者の確認が困難なものもあり、移住促進に向けたストック確保における課題となっている。今後については、空き家所有者へ情報を届け、利活用に向けた協議に応じていただける仕組みの構築に向け、法令や地域団体との連携手法の研究を進めていく。	地域振興課	B
				目標値(累計)	件	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値(単年)	件	-	9	17	9								
				実績値(累計)	件	-	-	-	9								
				達成率	%	-	-	-	90.0%								
KPI	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	R3~7年度の中山間地域魅力ある民泊推進事業の補助団体の累計。	目標値(単年)	団体	-	-	-	1	1	1	2	2	① 順調	本事業を活用し、アフターコロナを見据えた環境整備を行う宿泊事業者を支援することができたが、いまだコロナ禍による観光客減少のため、事業者にとっては厳しい環境が続いている。先行きが見通せない中ではあるが、観光需要回復時に本市中山間地域へ宿泊客を取り込むことができるよう、事業者に対し、本事業の周知を再度行い、より多くの民泊施設整備につなげていく。	地域振興課	B
				目標値(累計)	団体	-	-	-	1	2	3	5	7				
				実績値(単年)	団体	-	1	0	1								
				実績値(累計)	団体	-	-	-	1								
				達成率	%	-	-	-	100.0%								
KPI	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	R3~7年度の関係人口拡大にむけた取組を実施する団体等の累計。	目標値(単年)	団体	-	-	-	1	2	2	1	1	① 順調	コロナ禍により、県境をまたいだ移動が困難な状況の中で、令和3年度は県内大学生を巻き込んだ取り組みが行われ、今後も関係人口として継続して地域とかわりを持っていただくことが期待される。今後は、アフターコロナを見据え、県外大学生等も視野にいれて、関係人口創出に取り組んでいく。	地域振興課	A
				目標値(累計)	団体	-	-	-	1	3	5	6	7				
				実績値(単年)	団体	-	1	1	3								
				実績値(累計)	団体	-	-	-	3								
				達成率	%	-	-	-	300.0%								

【重点施策】滞在型観光の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	63	観光入込客数(再掲)	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	300	302.5	305	307.5	310	③ やや遅延	年間観光入込客数は、前年度に比べ増加したものの、コロナ以前の水準までは回復していない。今後のコロナからの復興・再生を見据え、観光コンテンツの磨き上げや情報発信の強化等に取り組む。	観光・ジオパーク推進課	C
				実績値(単年)	万人	-	295	170	187								
				達成率	%	-	-	-	62.3%								
KPI	64	外国人宿泊者数	市内の主要宿泊施設の年間外国人宿泊者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	33,800	34,100	34,400	34,700	35,000	④ 遅延	新型コロナウイルス感染症の影響で、インバウンド需要の回復が見通せない状況が続いている。将来的な回復を見据え、受入体制の整備等を進める。	観光・ジオパーク推進課	C
				実績値(単年)	人	-	33,041	2,766	1,118								
				達成率	%	-	-	-	3.3%								

【重点施策】シティセールスの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	65	シティセールス取組評価値	当該年度実施の鳥取市LINEアンケート調査で「評価できる」「やや評価できる」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	65.3	66.8	68.3	69.8	71.5	① 順調	シティセールス戦略推進会議やSQアクションプランの策定・進捗管理、SQのあるまち職員研修など内部向けの取組と、テレビ番組制作など市内外向けの取組を踏まえ、これまで取り組んできた各種手法・情報発信を活かしブラッシュアップを図りながら、更なる効果的な取組について検討する。	政策企画課	B
				実績値(単年)	%	-	-	63.8	67.7								
				達成率	%	-	-	-	103.7%								
KPI	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	当該年度末の市が管理する主なSNSのフォロワー数。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	① 順調	SNSをはじめ、さまざまなメディアの持つ特性を生かしながら、市政情報を市民に届けていくことは、本市の広報戦略上重要な課題である。今後はプッシュ型の広報媒体を効果的に活用し、既存の広報媒体とも連携させながら情報発信・情報提供を行っていくことで市政情報の市民への浸透を図る。	秘書課 広報室	A
				実績値(単年)	人	-	-	20,655	25,060								
				達成率	%	-	-	-	125.3%								

【重点施策】文化芸術によるまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	市内文化活動団体連合組織の当該年度6月末の加盟団体数。	目標値 (単年)	団体	-	-	-	203	203	203	203	203	② 概ね 順調	活動者の高齢化により団体数が減少していることを踏まえ、文化芸術活動の持続発展に向けて、新たな活動者の参入・発掘・育成を図る必要がある。引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、補助制度による活動支援、次世代を対象とした芸術講座開催による人材育成、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	B
				実績値 (単年)	団体	-	-	203	199								
				達成率	%	-	-	-	98.0%								
KPI	68	文化芸術鑑賞者数	鳥取市補助事業等による当該年度の観覧者数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	23,000	30,000	44,000	58,000	72,000	① 順調	新型コロナウイルス感染対策の実施などに伴う文化芸術事業の再開により鑑賞者数が微増していることを踏まえ、さらなる鑑賞者数の増加に向けて、市民の文化芸術に対する関心喚起や意識高揚を図る必要がある。引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	B
				実績値 (単年)	人	-	61,280	22,930	23,969								
				達成率	%	-	-	-	104.2%								

【重点施策】自治体間連携の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	麒麟のまち圏域構成市町の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	707	720	733	746	759	③ やや遅延	令和3年度の麒麟のまち圏域の観光入込客数は前年度より減少しており、新型コロナウイルスの感染拡大による外出控えが影響しているものとする。今後も関係6町と連携を図り、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の活動を支援しながら魅力ある観光地づくりを進める。	観光・ジオパーク推進課	C
				実績値(単年)	万人	-	680.9	438.2	480.0								
				達成率	%	-	-	-	67.9%								
KPI	70	麒麟のまち圏域への移住者数	麒麟のまち圏域構成市町のR3~7年度の移住者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	718	718	718	718	718	① 順調	近年、麒麟のまち圏域への移住者数は増加傾向にある。令和3年度は地域商社による圏域特産品のPRや地域連携DMOによる観光及びワーケーション商品の造成など、圏域の交流人口等の増加に資する取組が行われた。一方で、予定していた1市6町合同による都市部での移住定住相談会への出展は、大阪開催分がオンライン開催、首都圏開催分は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により参加が取りやめとなり、移住者増加を後押しする取組の実施が困難であった。令和4年度は、引き続き圏域の交流人口等の増加に取り組むとともに、再開が予定される対面での相談会への出展により、圏域の移住者数増加につなげていく。	地域振興課	A
				目標値(累計)	人	-	-	-	718	1,436	2,154	2,872	3,590				
				実績値(単年)	人	-	673	699	780								
				実績値(累計)	人	-	-	-	780								
				達成率	%	-	-	-	108.6%								

【基本目標Ⅲ－２】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)		
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)				
数値目標	71	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	56.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。安全、迅速に移動できる幹線道路整備の推進のため、関係機関に対する要望活動、県道整備の費用負担、幹線市道の整備等に引き続き取り組んでいく。	都市企画課	評価対象外	
				実績値(単年)	%	-	53.2	-	-	-	-	-						
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-						
	72	中心市街地の居住人口(社会増減数)	中心市街地の居住人口の社会増減数(転入者数-転出者数)の5年間(R3~7年度)の平均値。	目標値(単年)	人	-	-	-	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	① 達成	居住環境の向上につながる施策を進め、暮らしやすいまちなかとなったことで、子育て世代等の若年層がまちなかに移住・定住している結果が数値となって表れたものと考えられる。引き続き、居住環境の向上につながるよう取り組んでいく。	中心市街地整備課	A
				実績値(単年)	人	-	60	50	68									
達成率				-	-	-	-	達成										
73	小さな拠点の形成箇所数	地域住民自らが将来にわたり安心して暮らし続けることができる地域づくりに主体的に取り組む「小さな拠点」の当該年度末の形成箇所数。	目標値(単年)	箇所	-	-	-	2	2	3	3	4		① 順調	計画を策定した地域を引き続き支援するとともに、他地域においても地域住民が安心して暮らし続けることができる小さな拠点事業に取り組む地域の拡大を図る。	地域振興課	A	
			実績値(単年)	箇所	-	1	1	3										
			達成率	%	-	-	-	150.0%										
74	鉄道、バスなどの公共交通の利便性の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	30.0	-		⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。引き続き、交通事業者や関係機関と連携し、地域の移動実態に応じた最適な地域公共交通の再構築に向けた取組を推進していく。	交通政策課	評価対象外	
			実績値(単年)	%	-	22.2	-	-	-	-	-	-						
			達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-						
75	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-		⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。超高速インターネット接続環境が未提供の地域に対して、CATVによる光ファイバー網を整備することで、全市光化が実現となった。今後は有線テレビジョン放送施設の老朽化及び高速化対応のため、他事業者による超高速インターネット整備エリアにおいてもFTTH化を進めることで、市民サービスの充足を図る。	情報政策課	評価対象外	
			実績値(単年)	%	-	39.5	-	-	-	-	-	-						
			達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-						

【重点施策】生活基盤の充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	76	高速道路整備に係る要望活動数	高速道路整備推進期成会による国・国会議員への当該年度の要望活動数。	目標値(単年)	回	-	-	-	4	4	4	4	4	① 順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による要望活動に行動制限がかかっていたが、ウィズコロナを踏まえて対面やオンライン等により関係機関への働きかけを継続して実施する。	都市企画課	B
				実績値(単年)	回	4	4	4	4								
				達成率	%	-	-	-	100.0%								
KPI	77	協働による芝生化の箇所数	公園・公共空地を芝生化した当該年度の箇所数。	目標値(単年)	箇所	-	-	-	61	65	69	73	77	② 概ね順調	令和3年7月豪雨により、芝生化を計画していた倉田スポーツ広場が浸水したため、年度内での事業が未実施となった。倉田スポーツ広場の芝生化については、令和4年度に施行するが、更なる芝生化の推進を図るため、公園・公共空地などの芝生化について公園愛護会と協議を重ねながら進めていく。	都市環境課	B
				実績値(単年)	箇所	-	59	59	59								
				達成率	%	-	-	-	96.7%								

【重点施策】中心市街地の活性化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	コロナ禍で賑わい創出につながる活動が制限され、指標実績値は低調が続いていると考えられる。コロナ禍におけるイベント開催方法を検討することで、イベント件数は前年度より増加しており、情報発信をしっかりと行いながら、中心市街地の活性化を図る。	中心市街地整備課	B
				実績値(単年)	人	-	19,113	15,707	16,489								
				達成率	%	-	-	-	82.0%								
KPI	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	コロナ禍で賑わい創出につながる活動が制限され、指標実績値は低調が続いていると考えられる。コロナ禍におけるイベント開催方法を検討することで、イベント件数は前年度より増加しており、情報発信をしっかりと行いながら、中心市街地の活性化を図る。	中心市街地整備課	B
				実績値(単年)	人	-	21,900	18,900	16,453								
				達成率	%	-	-	-	81.9%								

【重点施策】魅力ある中山間地域の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	R3～7年度の輝く中山間地域創出事業（ソフト事業）の取組件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	6	7	8	9	10	③ やや遅延	中山間地域の活性化は本市の一体的な発展と活力創造に必要である。住民自らが主体となり、課題を認識し地域資源を活用した活性化事業に取り組むことで、新たな魅力創造や地域づくりが推進されている。より効果的な事業展開を図るとともに、地域づくり活動の定着と継続発展を図る。	地域振興課	C
				目標値(累計)	件	-	-	-	6	13	21	30	40				
				実績値(単年)	件	-	7	4	4								
				実績値(累計)	件	-	-	-	4								
				達成率	%	-	-	-	66.7%								
KPI	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	R3～7年度の伝統工芸等後継者育成支援事業の活用実績数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	3	3	3	3	3以上	③ やや遅延	研修修了者が地元で和紙製造に従事することとなったが、より多くの後継者育成に向けて、事業の内容及び補助対象経費について、より実効性のある支援が必要である。伝統工芸の後継者不足は深刻であり、解消に向けて、市が主体的に市内外へ研修従事者を募集するとともに、研修から就労へとつながる対策を行うことが必要である。	経済・雇用戦略課	C
				目標値(累計)	人	-	-	-	3	6	9	12	15以上				
				実績値(単年)	人	-	3	2	2								
				実績値(累計)	人	-	-	-	2								
				達成率	%	-	-	-	66.7%								
KPI	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	「とっとりふるさとリーダーアカデミー」で養成されたリーダーの当該年度末の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	280	285	290	295	300以上	① 順調	コロナ禍により、予定していた講座の延期や中止もあったが、年間を通して麒麟のまち圏域全体から延べ442名の方が事業に参加され、様々な講座や取組に対する助言を行った結果、新たに24名の地域のリーダーが誕生した。令和4年度においては、引き続きリーダーを中心とした取組の実践を支援するとともに、新たなリーダー養成のため、様々な地域・テーマにおいて、講座の開催及び取組に対する助言を行う。	地域振興課	A
				実績値(単年)	人	-	275	292	316								
				達成率	%	-	-	-	112.9%								

【重点施策】交通ネットワークの充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	83	共助交通の導入件数	公共交通空白地等に導入されている当該年度の共助交通の件数。	目標値(単年)	件	-	-	-	5	7	8	8	8	① 順調	共助交通の持続性を高めていくため、運行管理体制の充実を図っていく必要がある。今後は各地域の運行状況や課題等を関係者で情報共有しながら、共助交通の取組をさらに発展させ、地域の実情に沿った最適な生活交通の確保を図る。	交通政策課	B
				実績値(単年)	件	-	3	3	5								
				達成率	%	-	-	-	100%								
KPI	84	鉄道利用者数の減少抑制	当該年度の鉄道利用者数。市内各駅乗車人員数の減少を抑制する(年1.5%以内)。	目標値(単年)	万人	-	-	-	378	373	367	361	355	③ やや遅延	コロナ禍で鉄道など公共交通の利用は大幅に減少している。JR西日本は利用が少なく維持が困難な路線を初めて公表し、今後、路線の廃止や代替交通の検討が進められる中、沿線自治体と一体となり利用促進策など地域鉄道の存続に向けた取組を推進していく。	交通政策課	C
				実績値(単年)	万人	384	373	294	291								
				達成率	%	-	-	-	76.9%								
KPI	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	鳥取砂丘コナン空港「鳥取-東京便」の当該年度の有償搭乗者数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	38.8	39.6	40.4	41.3	42.0	④ 遅延	新型コロナウイルス感染拡大の防止を図るため減便での運行を余儀なくされ、利用は大幅に減少している。引き続き、関係機関や航空会社と連携し、コロナ後を見据えた利用促進策など、利用回復に資する取組を推進していく。	交通政策課	C
				実績値(単年)	万人	38.0	38.8	9.2	13.3								
				達成率	%	-	-	-	34.3%								

【重点施策】地域情報化の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	86	超高速インターネットサービス世帯充足率	当該年度末の通信速度が1 Gbps以上のインターネット接続サービスの利用可能世帯の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	91.0	100.0	100.0	100.0	100.0	① 順調	超高速インターネット接続環境が未提供の地域に対して、CATVによる光ファイバー網整備が令和3年度末に完成し、令和4年度からサービス提供を始めている。今後は有線テレビジョン放送施設の老朽化及び高速化対応のため、他事業者による超高速インターネット整備エリアにおいてもFTTH化を進めることで、市民サービスの充足を図る。	情報政策課	A
				実績値 (単年)	%	-	91.0	91.0	100.0								
				達成率	%	-	-	-	109.9%								
KPI	87	公共Wi-Fiの拠点数	当該年度末の公共Wi-Fiが利用できる拠点（公共施設、避難所）の数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	72	77	82	91	100	② 概ね順調	令和3年度は、施設の建て替え工事等により、設置拠点が減となった。今後は、避難所等のWi-Fi整備が求められる施設に対して、優先的に整備するよう事業を進め、公共Wi-Fiの充足を図る。	情報政策課	B
				実績値 (単年)	件	-	72	71	71								
				達成率	%	-	-	-	98.6%								
KPI	88	ネット手続きまとめサイト「e-鳥取市役所」の公開手続き数	当該年度のネット手続きまとめサイト「e-鳥取市役所」の電子申請の公開手続き数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	90	1071	1071	1071	1071	① 順調	令和2年度に押印等の見直しと併せて電子申請対応可能な手続きの棚卸を実施し、令和3年度に電子申請対応を行ったことにより、大幅な手続き件数の増加となった。今後は、利用促進に向けた取り組みを行う。	情報政策課 地方創生・デジタル推進室	A
				実績値 (単年)	件	-	80	239	1015								
				達成率	%	-	-	-	1128%								

【基本目標Ⅲ－3】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成	令和	令和	令和	令和	令和	令和	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
						30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	評価			評価コメント (課題・今後の方向性等)
数値目標	89	健康寿命 (65歳以上の平均自立期間) (女性)	当該年度の日常生活動作が自立している(要介護度2未満)期間の平均。	目標値 (単年)	年	-	-	-	20.86	20.91	20.96	21.01	21.06	① 順調	健康寿命の延伸には、若い頃からの健康的な習慣の獲得から、高齢期の介護予防の取組、特に社会参加の推進を一体的に取り組む必要がある。特に高齢期は、対象者の健康状態に応じた保健事業の導入も必要となる。これらの事業を連動させ、健康寿命の延伸に繋げていく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和3年度実績は令和元年度の数値を報告。	長寿社会課	B
				実績値 (単年)	年	-	20.76	21.07	21.03								
				達成率	%	-	-	-	100.8%								
	90	健康寿命 (65歳以上の平均自立期間) (男性)	当該年度の日常生活動作が自立している(要介護度2未満)期間の平均。	目標値 (単年)	年	-	-	-	17.71	17.79	17.87	17.95	18.03	② 概ね 順調	健康寿命の延伸には、若い頃からの健康的な習慣の獲得から、高齢期の介護予防の取組、特に社会参加の推進を一体的に取り組む必要がある。通いの場を通じた社会参加は男性の参加率が低いことが課題となっており、高齢期であってもボランティアや就労、スポーツ等へ参加できる機会を増やし、健康寿命の延伸に繋げていく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和3年度実績は令和元年度の数値を報告。	長寿社会課	B
				実績値 (単年)	年	-	17.55	17.63	17.57								
				達成率	%	-	-	-	99.2%								

【重点施策】スポーツ・レクリエーションの振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	91	市民体育祭の延べ参加地区数	当該年度の市民体育祭に参加した延べ地区数。	目標値(単年)	地区	-	-	-	460	470	480	490	500	④ 遅延	コロナ禍のため市民のスポーツ活動の自粛意識が高かったこと、人気4種目(陸上、バスケットボール、ソフトテニス、水泳)が中止となったことが要因となり、参加校区が減少したと考えられる。令和4年度は通常の校区対抗の大会に戻り、ウィズコロナで感染対策に万全を期し大会運営に努めたい。	生涯学習・スポーツ課	D
				実績値(単年)	地区	-	452	大会中止	141								
				達成率	%	-	-	-	30.7%								
KPI	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	功績を残したアスリートを招いた出前授業(小学校5年生、中学校2年生対象)の当該年度の実施校数。	目標値(単年)	校	-	-	-	16	16	18	18	20	③ やや遅延	児童生徒の新型コロナ発症に伴う休校措置や授業の遅れから、学校からの「夢の教室」申込が減少した。また、新型コロナの影響によりアスリートの県境をまたいだ移動は制限され、アスリートの対面授業はリモート授業で取り組まざるを得なかった。このような状況でも児童生徒や教職員からの評価は高く効果も認められるため事業を引き続き継続する。	生涯学習・スポーツ課	C
				実績値(単年)	校	-	14	10	12								
				達成率	%	-	-	-	75.0%								
KPI	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	学校施設開放による小中学校体育館等の当該年度の延べ一般利用者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	① 順調	システム化により施設の空き状況が確認できるようになったこと、校区に限定しない利用が可能となったことにより利用者が増加した。システムID希望者は増加中であり、今後も学校体育施設の市民利用は増加する見通しとなっている。今後はシステム改修を行いつつ利便性の向上に努め、本市のスポーツ振興に寄与したい。	生涯学習・スポーツ課	A
				実績値(単年)	人	-	344,804	279,704	442,432								
				達成率	%	-	-	-	126.4%								

【重点施策】健康づくり・疾病予防・介護予防の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	保健師・栄養士等の専門職が地域で実施する健康づくり等の知識の普及啓発活動への当該年度の延べ参加者数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	9,480	9,485	9,490	9,495	9,500	④ 遅延	特定健康診査の結果を活用して、引き続き生活習慣病の改善が必要な者を対象に保健指導を実施する。地域においても生活習慣病予防や健康づくりの意識を醸成することが必要である。一方で、新型コロナウイルス感染拡大により、やむを得ず中止になったことで実施機会が減少したことも一因である。今後は感染対策を講じながらも地域において孤立しないよう工夫して実施していく必要がある。	健康・子育て推進課	C
				実績値 (単年)	人	-	9,205	4,982	4,686								
				達成率	%	-	-	-	49.4%								
KPI	95	特定健診・がん検診の受診率(特定健診)	当該年度の鳥取市国保加入者(40~74歳)の特定健診受診率、各がん検診受診率の平均値(目標値50%は国の69歳以下受診率の目標)。	目標値 (単年)	%	-	-	-	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0	③ やや遅延	特定健診受診率、特定保健指導実施率は約30%台を推移しており、目標値の60%に達していない。40~50歳代の受診率が20%未満であることや新型コロナウイルス感染症による受診控えが影響していると考えられる。個別通知の工夫や啓発等実施し、受診率向上につなげ、予防や重症化予防に取り組む必要がある。	健康・子育て推進課	C
				実績値 (単年)	%	-	33.5	32.4	32.9								
				達成率	%	-	-	-	65.8%								
KPI	96	特定健診・がん検診の受診率(がん検診)	当該年度の鳥取市国保加入者(40~74歳)の特定健診受診率、各がん検診受診率の平均値(目標値50%は国の69歳以下受診率の目標)。	目標値 (単年)	%	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0以上	② 概ね順調	がんは、長年にわたり本市の死亡原因の第一位である。がん検診受診率は50~60歳代の受診率が減少していることから、働き盛り年代の健康意識を高め、がんの早期発見・早期治療につなげるよう対策を進めていく必要がある。	健康・子育て推進課	B
				実績値 (単年)	%	-	45.6	41.3	40.8								
				達成率	%	-	-	-	81.6%								
KPI	97	介護事業所や地域の集いの場へのリハビリ専門職の派遣	当該年度の介護事業所等職員への助言及び地域住民への介護予防啓発のためリハビリ専門職員を派遣した回数。	目標値 (単年)	回	-	-	-	160	162	166	168	170	① 順調	理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、薬剤師会などの協力により専門職派遣の需要増に対応することができた。また鳥取中央地域包括支援センターでモデル的に実施した簡素化した地域ケア会議を38回実施したことで需要の掘り起こしにもつながり大幅な目標達成ができた。 しかし、年間計画のある会議へは派遣しやすいが、多様なニーズや突発的な依頼へは対応しきれず、丁寧に対応できる仕組みの構築や専門職の所属する法人との連携を深めていく必要がある。	長寿社会課	A
				実績値 (単年)	回	-	155	168	273								
				達成率	%	-	-	-	170.6%								

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	98	集いの場の箇所数	高齢者が地域の身近な場所で介護予防活動に参加できる「集いの場」の当該年度末の箇所数。	目標値 (単年)	ヶ所	-	-	-	439	474	509	544	578	② 概ね 順調	地域の高齢者の方の地域の居場所として定着し、やりがいづくりに繋がっており、令和2年度に比べ参加者数は増加している。一方で世話役の担い手不足により、活動内容や実施回数について苦慮している。新型コロナウイルス感染症拡大により、実施を見送ったサロンがある。今後も活動の継続や生活支援コーディネーターと連携して情報発信などの支援を行っていく必要がある。	長寿社会課	B
				実績値 (単年)	ヶ所	-	404	392	389								
				達成率	%	-	-	-	88.6%								
KPI	99	シルバー人材センター登録会員数	当該年度末の公益財団法人鳥取市シルバー人材センターの登録会員数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	700	721	742	763	784	① 順調	高年齢者雇用安定法により、65歳までの雇用確保義務と70歳までの就業確保措置の努力義務が企業に課され、コロナ禍による外出抑制と合わせて会員の確保が困難となっている。地元企業の人材不足の課題は顕著であり、活力ある高齢社会と雇用の創出に貢献する中核的な組織であるシルバー人材センターへの支援と会員確保による安定的な事業実施に取り組む。	経済・雇用戦略課	B
				実績値 (単年)	人	-	742	699	703								
				達成率	%	-	-	-	100.4%								

【基本目標Ⅲ－４】誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
数値目標	100	地域活動に参加したことがある市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	75.0	-	⑤ 評価対象外	市民アンケート実施年ではないため、数値把握ができない。引き続き、地域活動や地域共生の推進に向けた啓発活動に取り組んでいく。	協働推進課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	71.5	-	-	-	-	-	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年に福祉ボランティア活動に参加した」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	8.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。今後も地域福祉活動の活性化が進むよう、地域福祉を推進する施策を継続して実施していく。	地域福祉課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	7.2	-	-	-	-	-	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
	102	高齢者福祉関係の市民満足度指数の平均値	当該年度実施の市民アンケート調査において、住みやすさに関する満足度指数のうち高齢者福祉3項目の指数の平均値(最大5P)	目標値(単年)	P	-	-	-	-	-	-	3	-	⑤ 評価対象外	令和5年度に実施予定のアンケート調査(鳥取市地域福祉推進計画作成のための基礎調査)により実績値を把握する。今後も超高齢化社会及び多様化する福祉ニーズに対応していくため、各高齢者福祉事業を推進し、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりを進めていく。	長寿社会課	評価対象外
				実績値(単年)	P	-	2.97	-	-	-	-	-	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
	103	国際的な交流の機会・場所に対する重要度	当該年度実施の市民アンケート調査において、重要度が「高い」または「やや高い」と回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 新型コロナウイルス感染症の収束傾向により、外国人住民の増加が見込まれることを踏まえ、多様な人材の受入に向けて、外国人を含めたすべての住民にとって暮らしやすいまちを実現する必要がある。引き続き、関係機関や外国人支援団体などと連携しつつ、やさしい日本語・多言語による情報提供の充実や、各種講座・交流イベントの開催による相互理解の推進などに取り組むことにより、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	42.9	-	-	-	-	-	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
	104	自主防災活動助成件数	自主防災会が実施する防災訓練への当該年度の活動助成件数。	目標値(単年)	件	-	-	-	569	577	584	592	600	③ やや遅延	コロナ禍による感染拡大防止のため、訓練等の自主防災会の活動が制限され、件数が減少したものと考えられる。感染状況による訓練方法などの検討や自主防災会への情報提供・防災コーディネーターによる支援を行い、活動の活性化を図る。	危機管理課	C
				実績値(単年)	件	-	553	388	408								
				達成率	%	-	-	-	71.7%								

【重点施策】協働のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	R3～7年度の地区公民館などにおいて大学生が企画・運営するまちづくり事業の実施件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	4	8	12	16	20	① 順調	各地区公民館に対して働きかけを行った結果、若者が関わる地区数が目標値を達成している。引き続き鳥取大学及び鳥取環境大学と連携し、若者の発想や企画力を生かした地域活性化を図る。	協働推進課	A
				実績値(単年)	件	-	3	3	6								
				達成率	%	-	-	-	150.0%								
KPI	106	地域活動の支援	町内会が実施する地域活動への当該年度の支援(補助金交付)件数。	目標値(単年)	町内会	-	-	-	250	250	350	450	510	③ やや遅延	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、町内会による地域活動が自粛された。令和3年度においては、地域活動に対する費用に加えて、感染症拡大防止に要する費用も助成対象とすることで地域活動の底支えを行った。引き続き町内会の自主的な地域活動を支援するために必要な支援を行っていく。	協働推進課	C
				実績値(単年)	町内会	-	501	153	152								
				達成率	%	-	-	-	60.8%								

【重点施策】地域福祉のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	107	地域食堂の設置校区数	「地域食堂」が設置されている中学校区及び義務教育学区の当該年度末の数。	目標値(単年)	校区	-	-	-	11	13	15	16	17	① 順調	地域食堂(こども食堂)の開設においては、今後も各中学校区に1か所以上開設されるように推進していく。未開設地域においては、地域の団体等と連携を深める必要がある。	人権推進課	B
				実績値(単年)	校区	-	9	11	11								
				達成率	%	-	-	-	100.0%								
KPI	108	共生型サービスの実施事業者数	介護保険と障害福祉のサービスを同一事業所で提供を受けられる「共生型サービス」の当該年度末の実施事業者数。	目標値(単年)	事業者	-	-	-	7	8	8	9	10	② 概ね順調	事業者によっては、利用者数の減少によって経営困難となり事業廃止しているものもみられた(1事業者)。集団指導等を通じて、引き続き、共生型サービスの指定事業者の増加を図る。65歳以上になっても利用する事業所を変わることなく、継続してサービスが利用できる体制強化に努める。	地域福祉課指導監査室	B
				実績値(単年)	事業者	-	7	7	6								
				達成率	%	-	-	-	85.7%								

【重点施策】超高齢化社会に向けたまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
													評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	医療・介護事業者へのアンケート調査（当該年度の3月31日現在）において、医療・介護連携に関する達成度指数の平均値（最大5P）。	目標値(単年)	P	-	-	-	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	① 順調	コロナ禍で対面での会議に制限のある中、達成度指数は前回と比較して上昇しており、連携に向けた取り組みが徐々に効果を現している。今後も、協議会・ワーキンググループ等で課題を検討し、改善に取り組みながら、医療・介護の連携を支援していく。	長寿社会課	B
				実績値(単年)	P	-	3.0	3.1	3.1								
				達成率	%	-	-	-	100.0%								
KPI	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	該年度末の地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口。	目標値(単年)	人	-	-	-	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	② 概ね順調	新たに3箇所の地域包括支援センターを法人委託により新規開設したことにより、地域包括支援センター1箇所平均の高齢者人口が令和2年度末7,857人が令和3年度末5,546人となり、より地域に密着した、きめ細かい支援体制の充実が図られた。今後は、高齢者人口の増加に応じた変化に対応するとともに、地域密着型地域包括支援センターの支援に努める。	長寿社会課	B
				実績値(単年)	人	-	10,881	7,857	5,546								
				達成率	%	-	-	-	92.4%								
KPI	111	認知症サポーター養成講座受講者数(延べ人数)	認知症サポーター養成講座の当該年度末の延べ受講者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,323	21,323	22,323	23,221	24,119	② 概ね順調	コロナ禍で特に学校での開催が減少している。企業に対してはオンラインで開催したところもあり、引き続きオンラインを活用しながら柔軟な対応に努める。	長寿社会課	B
				実績値(単年)	人	-	18,323	18,540	18,860								
				達成率	%	-	-	-	92.8%								
KPI	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	地域の各種団体等関係者が話し合いを行う場の当該年度末の設置数。	目標値(単年)	ヶ所	-	-	-	9	10	11	12	13	④ 遅延	行政や専門機関を中心とした話し合いの場、設置に向けた動きは進展しているが、住民を中心とした話し合いの場の設置は難航している。今後も各専門機関と協働して自分自身の住む地域について自ら相談し合える環境を整えるため、地域住民に対してのアプローチを地道に行う。	長寿社会課	C
				実績値(単年)	ヶ所	-	7	3	5								
				達成率	%	-	-	-	55.6%								
KPI	113	市民後見人候補者名簿登録人数	成年後見人等としての活動を希望し、市民後見人候補者名簿に登録した当該年度末の市民の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	9	10	11	12	13	① 順調	候補者名簿に登録した人数は目標を上回ったが、市民後見人のなり手不足が課題となっている。養成講座の講義内容の見直し、広報の仕方等検討し、裁判所とも連携を図りながら市民後見人増加に向けて取り組みを進めていく。	長寿社会課	A
				実績値(単年)	人	-	7	7	10								
				達成率	%	-	-	-	111.1%								
KPI	114	介護保険施設職員の平均充足度	市アンケート調査（当該年度の3月31日現在）の市内の特養、老健、介護医療院及び地域密着型特養の職員の募集人数に対する採用人数の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	83.7	85.3	86.8	88.4	90.0	⑤ 評価対象外	現時点で判明していないため評価対象外。	長寿社会課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	80.6										
				達成率	%	-	-	-									

【重点施策】多文化共生のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	地域や学校等で実施する国際理解講座への当該年度の交流員の派遣回数。	目標値(単年)	回	-	-	-	80	80	90	90	90	④ 遅延	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により地区公民館主催事業などが縮小したことを踏まえ、国際理解の推進に向けて、事業の幅広い周知を図る必要がある。引き続き、地区公民館をはじめ、小・中学校、企業、団体など、幅広く事業の周知や実施の呼びかけを行うことにより、受講者数の増加につなげることで、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	C
				実績値(単年)	回	-	83	24	41								
				達成率	%	-	-	-	51.3%								

【重点施策】地域防災力の向上

指標区分	No.	評価指標	指標の説明		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	116	防災リーダーの設置地区数	市内61地区自主防災会のうち防災リーダーが設置されている地区の当該年度末の数。	目標値(単年)	地区	-	-	-	58	59	60	61	61	② 概ね 順調	本人の辞退により防災リーダーの設置地区は減少したが、コロナ禍により令和2年度実施出来なかった防災リーダー養成研修を令和3年度は実施し、防災リーダー登録者数は前年度に比べ58人増加した。地域間の防災意識や取組みの格差が地域防災力の格差につながっていると考えられ、未設置の地区に働きかけ、未設置地区の解消に努める。	危機管理課	B
				実績値(単年)	地区	-	57	57	56								
				達成率	%	-	-	-	96.0%								
KPI	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	内水氾濫による浸水被害を軽減するための対策工事の整備面積。	目標値(単年)	ha	-	-	-	2,151	2,156	2,161	2,166	2,171	① 順調	浸水被害発生区域の雨水排水施設整備は順調であり、指標実績値は目標を達成した。今後も継続して整備を進める。また、雨水計画区域全域について、浸水想定区域図(内水)を作成し、防災意識の向上を図る。	下水道企画課	A
				実績値(単年)	ha	-	2,133	2,161	2,164								
				達成率	%	-	-	-	100.6%								

4. 外部評価ご意見等への回答

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
1	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	実績値を見る限り政策効果が十分に表れているとは言えないと思います。	<p>合計特殊出生率を押し下げる要因として、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数の減少が考えられます。本市はこれまで、結婚や出産の希望をかなえる取組や、地域経済の活性化を通じた若者世代の経済的・生活基盤の充実に向けた取組、仕事と家庭と自分時間の調和した生活ができるまちづくりなど、少子化対策を総合的に進めておりますが、依然として、合計特殊出生率の着実な上昇につなげることができておりません。</p> <p>ご意見を踏まえ、各種施策の立案や改善を図りながら、引き続き、長期的な視点で少子化対策に取り組んでまいります。</p>	企画推進部	地方創生・デジタル化推進室
2	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	不妊治療の対応、支援はどうなっているか。	<p>これまで、不妊治療は保険適用でなかったことから国県市において助成を行ってきたところですが、令和4年度から保険適用となりました。しかしながら、保険適用外治療などにより治療費が全額自費となる場合等もあることから、下記のとおり不妊治療に対して助成を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊検査費助成金（県事業） ・不育症検査及び治療費助成金（市独自事業） ・特定不妊治療費助成金（県事業＋市追加助成） <p>また、不妊専門相談センター「はぐてらす」を県と共同で鳥取県立中央病院へ委託設置し、相談等に対応しています。</p>	健康こども部	健康・子育て推進課
3	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	成婚数の上昇に寄与する施策の推進が必要と考える。	<p>婚活イベント等を通じて成立したカップルへのフォローアップとして、婚活コーディネーターによる相談対応やカップル対象イベントを開催するなど、カップル成立後の交際へつなげる取組を強化しているところです。</p> <p>また、結婚を希望しつつも具体的な行動に移すには至っていない層に向けて、話題性やニーズの高い婚活イベントの開催や、婚活イベント情報を麒麟のまち圏域構成自治体で連携して発信することで、会員の婚活促進や新規会員の登録につなげ、圏域全体の結婚機運の醸成に向けて取り組んでまいります。</p>	企画推進部	政策企画課
4	ひとづくり	5	妊婦相談率	指標の相談した割合とは？	<p>妊婦が妊娠中に保健師等に相談した割合を設定しています。</p> <p>本市では子育て世代包括支援センター「こそだてらす」において、妊婦に対して身体や生活面などの相談に対応しています。安心して出産を迎えられるよう、母子健康手帳交付時に全妊婦に対して生活状況や悩みの聞き取りを行っており、妊婦自身が来庁できない場合は電話にて対応しています。また、出産近くには電話で状況をお伺いしています。</p>	健康こども部	健康・子育て推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
5	ひとづくり	6	新生児訪問の訪問率	コロナもありなかなか家庭への訪問もできないと思いますが、お母さん達が最も精神的、体力的にも疲れている時期なので何か支援になる支援をもっとしていただけたらと思います。	新生児期から生後4か月までの乳児の家庭を訪問し、母子の状況や養育環境等を把握して、子育てに関する助言及び情報提供を行うことで、保護者が安心して子育てできるよう支援しています。必要に応じて継続相談を受け、適切なサービスを提供し母子の孤立化を防いでいます。	健康こども部	健康・子育て推進課
6	ひとづくり	6	新生児訪問の訪問率	様々な対応でご苦労が多いことと思います。「拒否」の背景にあるものを粘り強く見極め100%達成をお願いします。	新生児訪問できなかった場合でも、4か月以降に訪問したり、電話や来所等で状況をお伺いして、保護者が安心して子育てできるよう支援しています。	健康こども部	健康・子育て推進課
7	ひとづくり	7	保育園の待機児童数(4月1日現在)	出生率が低いのに待機児童が出るのは何故なのでしょう？	待機児童の発生は、年度途中入所の需要に対する職員数の不足と施設的な問題が要因と考えています。	健康こども部	こども家庭課
8	ひとづくり	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	事故防止の観点からも職員数に余裕を持たせるべきではないでしょうか。	本市では、国の基準に基づき、職員の配置基準を定めているところであり、今後もこの配置基準に基づく適正な職員確保と配置により、待機児童対策を進めるとともに、安心安全な保育の実施に努めてまいります。	健康こども部	こども家庭課
9	ひとづくり	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	待機児童解消に向け具体的改善策を示すことが必要と考えます。	本市では、鳥取市子ども・子育て支援事業計画を策定し、入所を希望する児童数の見込みとそれを受け入れるための定員数を確保する計画を定め、待機児童対策を推進してきました。しかし、近年は少子化を背景として入所児童数は減少傾向に転じたことから、今後はこの計画の見直しを行うとともに、施設整備による「定員数の確保」ではなく、職員の確保と適正配置による「受け入れ体制強化」について検討していきたいと考えています。	健康こども部	こども家庭課
10	ひとづくり	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	保育園に預けたいけどダメだったという話や兄弟一緒に入れないので民間の保育所に弟は入っているという方もあります。やはり職員確保は必須かと思えます。	本市では、途中入園の希望についても、年度当初から職員の確保に努めることで、可能な限り受け入れを行っているところです。年間を通して全ての途中入所を受け入れることは、職員確保の面から困難な状況ですが、より多くの途中入所に対応できるよう職員確保に努めてまいります。	健康こども部	こども家庭課
11	ひとづくり	9	ファミリー・サポート・センターの提供会員及び両方会員数	とても良い取組なのですが実際に活用されている方はほとんど周りにおりません。何となく敷居が高かったり手続きが面倒であったりの感じがします。預ける側、預かる側の信頼関係がないと活用しにくいです。	ファミリーサポートセンターの取組は、本市のホームページや市報で紹介していることに加え、子育て支援センターや商業施設でチラシの配布、また、携帯アプリを活用した情報発信も行っています。活用にあたっては、大切なお子さまを預かる以上、一定の手続きは必要と考えていますが、本市では、まずは取組を知っていただくため、更なる周知等を図っていききたいと考えています。	健康こども部	こども家庭課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
12	ひとづくり	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	業種別に見た場合、偏りがないかどうか検討する必要あり。	かがやき企業には、鳥取市建設工事参加者格付要綱により入札時に加点が付与されるため、業種の偏りが生じているものと考えています。 かがやき企業認定制度や、認定企業の秀逸な取り組みをパンフレットや市の公式ウェブサイトなどで紹介するとともに、経済団体などと連携し周知に努めてまいります。	人権政策局	男女共同参画課
13	ひとづくり	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	育児も介護もやはり男性よりは女性の負担がまだまだ多いと思います。その中で責任ある仕事を任せられている女性はかなり大変だと思うので企業の努力はもっと必要になるかと思っています。	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の理解と取組の推進、職場における女性の活躍推進を図るため、経済団体等と連携し研修や訪問など企業への取り組みを進めていきます。	人権政策局	男女共同参画課
14	ひとづくり	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	特定の産業分野に偏っている。幅広い産業に周知。	かがやき企業には、鳥取市建設工事参加者格付要綱により入札時に加点が付与されるため、業種の偏りが生じているものと考えています。 かがやき企業認定制度や、認定企業の秀逸な取り組みをパンフレットや市の公式ウェブサイトなどで紹介するとともに、経済団体などと連携し周知に努めてまいります。	人権政策局	男女共同参画課
15	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（小学校）	グローバル化や情報化といった分野は社会の発展と共に大きく変化するため一定期間でのプログラムの見直しが必要と考えられる。	グローバル化や情報化について、社会の発展や変化に対応できるよう、ICT活用やオンラインサービスの活用等、プログラム内容の適宜見直しを行い取り組んでいるところです。	教育委員会	学校教育課
16	ひとづくり	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（中学校）	グローバル化や情報化といった分野は社会の発展と共に大きく変化するため一定期間でのプログラムの見直しが必要と考えられる。	グローバル化や情報化について、社会の発展や変化に対応できるよう、ICT活用やオンラインサービスの活用等、プログラム内容を適宜見直しを行い取り組んでいるところです。	教育委員会	学校教育課
17	ひとづくり	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（小学校）	特に不登校児童生徒に対してなぜ不登校なのかを考えると同時に学校以外の場で学ぶ機会の提供も必要と考える。	各学校では、不登校児童生徒に限らず、児童生徒の状況や困り感などをしっかり把握し、適切に対応できるよう組織的に取り組んでいます。また、各学校では、教室以外の学ぶ場として、校内の別室を利用したり、市が設置しているサポートルームへの通所など、個に応じた学びの場を提供しているところです。	教育委員会	学校教育課
18	ひとづくり	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（小学校）	不登校児童生徒の推移はどうなっているか。	本市における不登校児童生徒数は、国県同様、年々、増加傾向にあります。今後も、不登校の未然防止、早期発見、早期対応が必要と考えています。	教育委員会	学校教育課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
19	ひとづくり	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（中学校）	特に不登校児童生徒に対してなぜ不登校なのかを考えると同時に学校以外の場で学ぶ機会の提供も必要と考える。	各学校では、不登校児童生徒に限らず、児童生徒の状況や困り感などをしっかり把握し、適切に対応できるよう組織的に取り組んでいます。また、各学校では、教室以外の学ぶ場として、校内の別室を利用したり、市が設置しているサポートルームへの通所など、個に応じた学びの場を提供しているところです。	教育委員会	学校教育課
20	しごとづくり	23	大学生県内就職率	採用活動の問題ではなく大学生の県内就職率が20%以下の状況の根本原因を探るべきである。県内（市内）企業の活性化を促す支援が不十分と捉えている。	コロナ禍の影響もあってICT・デジタル化の急進展に伴い、就職活動が様変わりする動きに地元企業が十分に対応できていない現状があります。対策として、これまでの「地元企業就職PR動画作成助成金（助成率3/4・最大10万円）」に加えて、令和3年度は「人材確保デジタル化支援事業補助金（補助率2/3・最大50万円）」の創設やデジタル化支援セミナーを開催しました（2回開催・30社参加）。今後も、地元企業の人材確保の取組を支援してまいります。	経済観光部	経済雇用・戦略課
21	しごとづくり	23	大学生県内就職率	大学生の就職活動は様変わりしてしまっている。対応急速に検討する必要があると思われる。	コロナ禍の影響もあってICT・デジタル化の急進展に伴い、就職活動が様変わりする中で、これまでの「地元企業就職PR動画作成助成金（助成率3/4・最大10万円）」に加えて、令和3年度は「人材確保デジタル化支援事業補助金（補助率2/3・最大50万円）」の創設やデジタル化支援セミナーを開催しました（2回開催・30社参加）。今後も、地元企業の人材確保の取組を支援してまいります。	経済観光部	経済雇用・戦略課
22	しごとづくり	23	大学生県内就職率	地元企業は県外企業よりもインターンシップなど新卒採用などの人材確保で遅れている。2大学についても同様に地域で暮らしても働く場所への理解が少ない。企業の採用に対する方法について考える必要があると考える。	地元企業の事業やそこで働く魅力が十分に伝わっていないことが考えられることから、大学等進学前の地元高校生に対して地元企業の事業展開や魅力について理解してもらうことを目的とした年間を通じたオンライン学習と半日程度のフィールドスタディ（職場体験）を組み合わせたプログラムを導入しました。市内2校の高校生431人が地元企業43社を訪問しました。今後も地元企業への就職が選択肢となるよう、関係機関と連携しながら進めてまいります。	経済観光部	経済雇用・戦略課
23	しごとづくり	24	市内製造品出荷額等	円安、国際情勢等から製造業等の国内回帰の可能性はあると見られる企業誘致に向けてアンテナを高くしておくべきと考えます。	コロナ禍の中でサプライチェーンの見直しが進む中、この度の円安・国際情勢の影響を受け、国内回帰の動きがさらに加速するものと考えており、この点を踏まえ、企業動向の情報収集に努めながら企業誘致活動を進めてまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
24	しごとづくり	26	市内農業産出額	農業産出額の達成を見たが、農業者にその実感があるか不透明。	本市では、水稻を作付けする小規模農家が多く、ご指摘のとおり所得向上を実感できる収益状況とは言い難い経営実態もあります。また、令和3年以降は、新型コロナウイルス感染症や国際情勢の影響により、米価下落、燃油、農業用資材、飼料価格等の高騰が農業経営に大きな影響を与えていると考えています。今後も経営の効率化や、持続的な農業所得向上に資する切れ目のない支援により、農業振興を図っていく必要があると考えています。	農林水産部	農政企画課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
25	しごとづくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	現状分析不足。施策の抜本的見直しが必要と考える。	人材不足が慢性化する中で、事業完了後の補助金交付申請時点の雇用減少による要件未達の可能性やコロナ禍以降の経済変動により、思い切った投資・資金増の計画が立てづらい状況となっています。認定要件としている先端設備等導入計画の認定制度の終了(R4年度未予定)に合わせて補助制度の見直し等を検討します。	経済観光部	企業立地・支援課
26	しごとづくり	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	目標値が近く4倍強の結果となっている。民間事業の圧迫になる可能性もあり、民業の場合との比較によりスタンスを再考する必要があるのではないかと考える。	カスタマーセンターを設置し運営業務を委託している鳥取市観光コンベンション協会と定期的に協議しています。その中で、市としてのスタンスについても各種提案・意見を受けておりますので、今後検証していきます。	経済観光部	経済雇用・戦略課
27	しごとづくり	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	コロナ禍の状況が続く中では今後も市場の拡大、新しい展開が見込まれるコンテンツ。「とっとり市」だけでなく色々な媒体とのコラボレーションも検討してみたい。	コロナ禍があり、インターネット内での広告宣伝に終始していた点は否めませんので、アフターコロナを見据えたリアルでのイベントや広報との連動などを検討していきます。	経済観光部	経済雇用・戦略課
28	しごとづくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	コロナ禍のみが原因か？検証が必要。東アジア地域の経済発展状況を分析し、施策の中に折り込む必要有と考える。	ご質問のとおり、東アジア地域の持続的な発展により、留学生側の選択肢が増えていることは事実として認識しております。鳥取地域への定着を促進するためには、事業そのものの魅力を向上していくことが必要と考え、インターンシップそのものを定期開催するのではなく、フレキシブルに開催できるようにするなど、各種カスタマイズを行ってまいります。	経済観光部	経済雇用・戦略課
29	しごとづくり	33	まちづくり投融資制度（投資・融資）の活用実績額の累計	制度の認知度向上に努める必要あり。（金融機関も努力します。）中活協等と情報を共有しニーズのある方に丁寧な説明アドバイスを行っていききたい。	本制度は、本市及び各金融機関のホームページ掲載に加え、商工団体及び金融機関における起業予定者への情報提供などにより、広く周知を図っています。また、個別の創業相談の際にも、事業内容の聞き取りを行った上で、本制度の活用の提案も行ってまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
30	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	後継者不足の原因について遡及できていないのではないかと？不在というより現業に意欲がない場合も多いと考える。まずは現状分析が必要。	事業承継・引継ぎ支援センターや各金融機関と情報共有を図りながら現状分析に努めたいと考えます。また、利用者のニーズに応じた補助制度の見直しも検討します。	経済観光部	企業立地・支援課
31	しごとづくり	39	新規のオフィス設置数（市関与分）の累計	情報収集力、情報発信力の強化を真剣に考えるべき。誘致優遇策では不十分であり先方のニーズ把握が先ず大前提と考える。	令和2年度以降、オンラインでの情報発信に力を入れてきましたが、具体的な立地に繋げるには企業とのコミュニケーションは欠かせないため、オンラインマッチングの機会を積極的に確保し、企業の求める条件を集約しつつ、本市の魅力をアピールしたいと考えています。	経済観光部	企業立地・支援課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課									
32	しごとづくり	46	市戦略作物の出荷量	高齢化や担い手不足の問題解決や動きはありますか？	高齢化や担い手不足は依然として深刻な状況です。本市では、担い手となる認定農業者や新規就農者に、機械施設整備や農地借入に対する補助等を行い、生産規模拡大の支援や耕作放棄地の防止に取り組んでいます。	農林水産部	農政企画課									
33	まちづくり	55	観光入込客数	コロナの影響は否めないが、砂丘周辺を中心に魅力的なスポットの整備など上向きな要素もある。いなば温泉郷全体の底上げが必要。	本市では、アフターコロナを見据えた観光事業者による前向きな投資に対する支援制度を設け、いなば温泉郷の温泉地や宿泊事業者による施設の改修、新たな商品開発などを進めています。また、鳥取市観光コンベンション協会のホームページに麒麟のまち圏域の観光情報を掲載し、圏域の温泉地などの魅力も紹介するなど、情報発信にも努めています。引き続き、受入環境の整備と情報発信の充実により、温泉地の魅力向上に努めていきたいと考えています。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課									
34	まちづくり	58	麒麟のまち圏域の人口	全国的な人口減少率との比較も提示してほしい。	直近2年（令和2,3年度）の全国人口と麒麟のまち圏域人口の前年比増減率を比較すると、麒麟のまち圏域人口の減少割合の方が2年とも若干高い状況にあります。引き続き、麒麟のまち圏域自治体でしっかりと連携し、圏域人口の減少抑制に向けて取り組んでまいります。 〈参考〉 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国の人口増減率</td> <td>-0.33%</td> <td>-0.52%</td> </tr> <tr> <td>麒麟のまち圏域の人口増減率</td> <td>-0.47%</td> <td>-1.09%</td> </tr> </tbody> </table>		R2	R3	全国の人口増減率	-0.33%	-0.52%	麒麟のまち圏域の人口増減率	-0.47%	-1.09%	企画推進部	政策企画課
	R2	R3														
全国の人口増減率	-0.33%	-0.52%														
麒麟のまち圏域の人口増減率	-0.47%	-1.09%														
35	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	地域によって取組にバラつきがある。	本事業は、空き家を地域資源として活用することにより移住促進を図るもので、空き家情報の収集や空き家の所有者・移住希望者との連絡調整などを地域団体に委託して実施しています。地域課題の解決に取り組む地域・団体に対し、こうした取組みを好事例として展開することで、より多くの地域に広げられるよう努めてまいりたいと考えています。	市民生活部	地域振興課									
36	まちづくり	63	観光入込客数（再掲）	観光客のニーズやトレンドにマッチした戦略的な施策を望みたい。	新型コロナウイルス感染症の発生を契機に、マイクロツーリズムやワーケーション、アウトドア体験が人気となるなど、観光客も安心・安全・快適を求める嗜好へと変化しています。全国的に知名度の高い鳥取砂丘とその雄大な自然景観の中で楽しむアクティビティやキャンプ、さらには鳥取城跡や白兔海岸など、本市特有の歴史や神話などを組み合わせた観光商品の造成や観光消費の拡大を意識した情報発信などを戦略的に進めていきたいと考えています。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課									

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
37	まちづくり	63	観光入込客数（再掲）	<p>コロナの影響を考えると、未達成は仕方がないと思う。しかし、コロナの収束が見込めない中、コロナが回復することを見込んだ目標数値を目指すのではなく、いかに感染に配慮した環境で観光客を呼び込み観光業を維持していくかだと思う。コロナの影響を踏まえた数値目標を再設定し、それに向けて動く方がよいのではないだろうか。</p>	<p>鳥取砂丘では、鳥取大砂丘観光協会及び鳥取砂丘アクティビティ協会が「安心観光・飲食エリア」を宣言し、店舗等が感染防止対策や点検などを徹底し、安心・安全とおもてなしの気持ちが調和した新たな砂丘観光の取組を進めています。</p> <p>また、本市は観光事業者が取組む感染防止に資する取組に対し補助金等で支援を行うなど、感染に配慮した環境での集客にも取り組んでいるところです。</p> <p>こうした取組状況を踏まえ、数値目標は当面は現行のまま進めたいと考えています。</p>	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
38	まちづくり	64	外国人宿泊者数	<p>アフターコロナを見据えて鳥取のディープな魅力、コンテンツを発信して欲しい。</p>	<p>本市は昨年11月に鳥取市観光コンベンション協会のホームページをリニューアルし、鳥取市ならではの自然景観や歴史文化、食の魅力などを掘り起こし、テーマ性を持った特集やモデルコースとして紹介しています。アフターコロナを見据える上では、こうしたコンテンツをさらに充実し、情報発信することで、国内外から観光誘客につなげていきたいと考えています。</p>	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
39	まちづくり	64	外国人宿泊者数	<p>外国人の宿泊数を増やすのは、無理な状況だと思う。ビジネス目的の滞在者を増やすほかないのが現状。感染リスクを減らすという意味では、実数値が小さい方がよいという考え方もある程だ。一度保留にするか、別の目標値を一時的に設定しその目標に向けて活動するのがよいのではないか。</p>	<p>2025年に開催予定の大阪・関西万博を見据え、（一社）麒麟のまち観光局を中心に山陰海岸ジオパークを構成する3つのDMOが連携し、首都圏や関西圏をターゲットとする新たな周遊ルートの造成や訪日外国人観光客の嗜好を捉えた観光商品の開発など、インバウンド需要の獲得に向けた取組を進めており、本市もその活動を支援しています。</p> <p>こうした取組状況を踏まえ、目標値は当面は現行のまま進めたいと考えています。</p>	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
40	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	<p>担当部の努力は評価するが、初年度で目標（R7）を超えてしまうのは目標設定が低すぎたのではないか。</p> <p>初年度で目標（R7）を超えた場合は目標値を見直すのか。</p>	<p>初年度で目標（R7）を達成したので目標値を見直します。</p> <p>目標設定時の想定より早く達成できたことについては、SNSの利用者数が年齢層を問わず増加しており、情報発信ツールとして活用している状況を踏まえ、R3・R4年度に実施した「鳥取市公式LINEのリニューアル」で利便性が高い新機能を追加したことによるものと考えています。</p>	企画推進部	広報室
41	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	<p>これからは文化芸術活動が集団から個人に向かうのでやむを得ないのでは。個人でも活躍できる支援が必要。</p>	<p>本市では、個々で活動する地元出身・在住の芸術家を支援するため、一昨秋、「鳥取市芸術家バンク」を設立し、インターネットやラジオ等を通じたPRを行うとともに、市内の小中義務教育学校からの依頼に基づき、同バンクに登録している芸術家を派遣し、公演やワークショップなどの文化芸術体験プログラムを実施するなどの取組を行っています。</p> <p>また、地元作家が個展等でギャラリーを活用する場合の助成制度や地元音楽家を活用したコンサート等を開催する場合の助成制度等も設けているところです。</p>	企画推進部	文化交流課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
42	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	合併地域への応援を。拠点施設の整備を。	本市では、新地域の文化団体組織（連合体）に所属する文化団体の活動を支援するため、公立文化施設（市民会館、文化センター、福祉文化会館）の施設使用料の減免制度や、文化団体組織の活動経費に対する助成制度を設けています。 合併地域を含む文化芸術活動の拠点整備については、有識者等で構成する「ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会」において検討を行ったうえで令和4年度中に方向性を取りまとめる予定です。	企画推進部	文化交流課
43	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	活動者の高齢化により減少しているのは事実であるが、私も何とか若者に文化芸術に興味を示してもらいたいと思っています。それには発表する場所、施設の整備をしてもらいたい、若者にぜひ鑑賞して興味をもってもらいたいと思っています。	本市では、地域社会や文化芸術の担い手を育成するため、地元で活躍する芸術家が小学校に出向いて児童に指導を行う「芸術の出前講座」、乳幼児から中学生までの若年層を対象に、文化芸術に触れる機会を提供する「次世代育成推進事業」、市内の児童生徒に本物の芸術（音楽、演劇等）を体験・体感する機会を提供する「青少年劇場巡回公演」などの取組を行っています。 文化芸術活動の拠点整備については、有識者等で構成する「ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会」において検討を行ったうえで令和4年度中に方向性を取りまとめる予定です。この中で、次世代育成の観点からの検討も行っていく予定です。	企画推進部	文化交流課
44	まちづくり	68	文化芸術鑑賞者数	コロナ禍により低迷していたが、コロナ対策をしながら芸術活動をしなければならないという機運が高まり元にもどりつつある。市当局も対策を考えてもらいたい。	本市では、新型コロナウイルス感染により大きな打撃を受けた地元の文化芸術活動の復興・再生に向け、インターネットなどを通じた「情報発信」、施設利用料の減免や活動経費に対する助成などによる「活動支援」、地元文化団体や芸術家と連携した「普及促進」や「次世代育成」、文化施設のあり方検討などによる「環境整備」などの取組を展開しているところです。 引き続き、感染予防対策を講じつつ、「文化芸術の薫りあふれるまち 鳥取市」の実現に向け、文化芸術に対する市民の意識高揚や関心喚起、市民の文化芸術活動の活発化を図っていきたいと考えます。	企画推進部	文化交流課
45	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	アフターコロナ、ウィズコロナに対応した戦略を立てて欲しい。因但連携を進める中で各地域とのストーリーを組み立てる中で新たな魅力の発掘に努めて欲しい。	本市では麒麟のまち観光局等と連携し、鳥取市観光コンベンション協会のホームページのリニューアルなど、アフターコロナを見据えた情報発信体制の強化に取り組んでいます。 麒麟のまち圏域は、麒麟獅子舞を中心とする日本遺産認定ストーリーや山陰海岸ジオパークなど、テーマ性をもった観光コンテンツに恵まれていることから、広域連携により、こうした魅力の情報発信と観光資源の掘り起こしなどに取り組んでいきたいと考えています。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
46	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	麒麟のまち圏域の定住が初期ほどの努力が見られない。コロナウイルスは全国的なものであり、こういう時こそ努力をしてもらいたい。	麒麟のまち圏域の定住促進に向けて、若者の地元定着促進や婚活支援、移住促進など幅広く取組をすすめているところです。令和3年度は、高校生が地域の企業や事業所に少人数のグループで出向いて学習する取組やオンラインも取り入れた婚活事業の実施、移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」の整備やオンライン移住相談など、コロナ禍にあって集合や対面が困難な状況でも工夫しながら取組を進めてまいりました。引き続き、コロナ禍で得られた知見や手法をいかし、圏域全体の定住促進に向けて取り組んでまいります。	企画推進部	政策企画課
47	まちづくり	72	中心市街地の居住人口(社会増減数)	中心市街地の活性化であるが商店街の活性化を進めてもらいたい。	引き続き商店街にぎわい形成補助金や大型空き店舗入居補助金により活性化を図るとともに、その他施策も検討していきます。	経済観光部	経済雇用・戦略課
48	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	具体的な施策を知りたい。	小さな拠点形成の検討、試行、計画策定に係る費用や、拠点運営のリーダーとなる人材を雇用、育成する費用に対する補助を行っています。佐治町ではNPO法人さじ未来が地域助け合い事業、空白地有償運送や地域サロン運営などに取り組んでいます。また河原町国英地区では国英地区ふるさとづくり協議会が共助交通や地域カフェの運営に、気高町浜村地区では浜村地区活性化委員会が空き家や入浴施設の利活用に、それぞれ取り組んでいます。現在の取り組みを引き続き支援するとともに、新たな拠点形成に向け、説明会などを行い制度の周知に努めてまいります。	市民生活部	地域振興課
49	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	行政は「待ち」ではなくどんどん仕掛けていくような取組を期待します。	本市では、地域振興の取り組みの一つとして、「小さな拠点」事業に取り組んでおり、佐治地域の取り組み事例を、様々な場面でご紹介したり、まちづくり協議会など、地域づくりに取り組む皆さんを対象に、「地域づくり講演会」を開催し、県外の先進事例を学んでいただく機会を設けてまいりました。今後も、地域振興に取り組まれようとする皆さんへ、取組手法の一つとして検討していただけるよう、積極的に情報発信するとともに、計画策定等に職員を参画させるなど、地域と一緒に取り組んでまいります。	市民生活部	地域振興課
50	まちづくり	77	協働による芝生化の箇所数	管理体制の充実へ支援を。	芝生化実施公園数に対する保有芝刈機数が不足しているため、年次的に芝刈機を購入し、管理体制の充実を図ります。	都市整備部	都市環境課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
51	まちづくり	78・79	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日・休日）	魅力ある賑わい創出を。	鳥取市中心市街地活性化基本計画では、中心市街地において、エリアコンセプトや目標達成のための重点施策等を踏まえ、8つのゾーンを設定し、その機能の充実と相互連携による中心市街地全体の活性化に取り組んでいます。駅前周辺は市の玄関口としての魅力や機能の向上を図る「エントランス機能強化ゾーン」や「賑わい魅力創出ゾーン」と位置付け、WiFi設置など駅前周辺の情報発信機能の強化やバード・ハットを活用したイベントへの開催支援を行っています。 令和4年10月には回遊・滞在性の向上を図るため、鳥取駅南側の鉄道記念公園付近にて実証事業を行う予定としており、そこで得られた結果を今後の取り組みに生かしていきたいと考えます。	都市整備部	中心市街地整備課
52	まちづくり	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	取組の成果内容を知りたい。	本事業では、中山間地域の活性化に向けて地域住民自ら行う活性化計画策定及び計画に基づいたソフト事業、中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援しており、令和3年度は4件のソフト事業について支援を行いました。地域資源を活用した自主映画の作成、ウォークラリーイベントの実施、郷土冊子の作成などにより、住民主体となって地域を盛り上げていこうとする素地が醸成され、魅力ある中山間地域づくりに向けた機運が高まったと考えております。	市民生活部	地域振興課
53	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	職人になりたい人は少なくない。大分県竹工芸訓練センターのような社会人向けの学校の形式での学びの場があればと思う。	本制度は鳥取市の文化的財産である伝統工芸等の技術の伝承と後継者の育成を図ることを目的とした制度です。本市の伝統工芸は、和紙、陶磁器、竹工、酒造、菓子、木製家具、その他手工芸など多岐にわたり、それぞれが専門的な知識と技術が必要です。 学校形式の訓練所となると、種目を限定することとなり、技術習得希望者が限られてしまうことにつながるため、現在の希望する工芸の受け入れ先において研修を積んでもらう形が望ましいと考えます。	経済観光部	経済雇用・戦略課
54	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	担当部の努力は評価するが、初年度で目標（R7）を超えてしまうのは目標設定が低すぎたのではないかと。初年度で目標（R7）を超えた場合は目標値を見直すのか。	とっとりふるさとリーダーアカデミーでは、前身のとっとりふるさと元気塾で認定した地域リーダーのステップアップを目的としていたため、新規のリーダー認定は少なく見積もっておりましたが、想定を超える新規参加者があり、目標数値を超えることとなりました。目標数値は新たに戦略策定する際に見直します。	市民生活部	地域振興課
55	まちづくり	83	共助交通の導入件数	各地域のニーズの掌握に努めていただきたい。	自家用車による有償での運送（共助交通）は、交通空白地域（駅やバス停から400m以上離れている地域）や交通不便地域（路線バスの減便や、タクシー営業所の廃止により公共交通での移動が不便な地域）での導入が認められているものであり、本市では、こうした地域や路線バスの廃止や減便が予定されている地域と一緒に、共助交通など地域の実情に合った最適な移動手段の確保に努めているところです。	都市整備部	交通政策課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご意見・ご質問等の内容	回答	回答部局	回答課
56	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	コロナでやむを得ないところであるが、新たなフライトの取組みなどとも連携し、鳥取の魅力の発信に努めてほしい。	2026年4月に神戸空港と県内2空港（鳥取・米子）を拠点とする新たな国内線の運航が開始される予定となり、今後、運航会社や関係機関などと連携を図りながら新規路線を生かした観光振興や産業振興に努めてまいります。	都市整備部	交通政策課
57	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	コロナ禍の中で搭乗者の増加は難しいと思います。	鳥取-東京便は、コロナ感染症の影響により減便での運行を余儀なくされていますが、コロナ後の利用回復を目指し、旅行商品の造成支援や、首都圏でのプロモーション活動、鳥取砂丘コナン空港の魅力向上に注力しているところです。	都市整備部	交通政策課
58	まちづくり	87	公共Wi-Fiの拠点数	外出時のオンラインミーティングの難しさが解消されると働きやすくなる。都会だと駅などに個室ワークステーションがある。	多様な働き方を可能にするため、民間企業においてワークスペースを設置する流れが進んでおり、先日、鳥取駅構内でも個室型ワークスペースが設置されました。本市でもこの流れを後押しするために、民間企業が手掛けるコワーキングスペース整備に必要な経費を支援しているところです。	経済観光部	企業立地・支援課
59	まちづくり	87	公共Wi-Fiの拠点数	鳥取市が採用しているFREESPOTだが、使い勝手が悪く、接続が不十分だったり不具合が発生している施設もある。拠点数も増やしてほしいが、現地の確認も行ってほしい。各拠点のスタッフからも問い合わせがいくつか来ていると思うので、真摯に対応してほしい。	①使い勝手について 鳥取市が採用する「Freespot協議会」運営のWi-Fiについては、全国のアクセスポイントの多さから利便性を配慮し採用したものです。また、認証については一度登録が完了すれば、次回接続時には自動で接続するようになり、FreeSpot機器が設置してある施設であれば、登録を行った施設以外にも全国どこでも利用することができます。認証方式については、FreeSpot協議会においてメール認証によるユーザー登録以外にもSNS等を利用した認証方法の導入など改善が進められており、利便性は向上されていくものと考えています。 ②不具合対応について 鳥取市が設置した公衆無線LAN（FreeSpot）は、鳥取市有施設に来館された不特定の多くの方に情報収集等を行うことを目的として整備したものであるため、安全に利用いただくために、機能制限を行っているため、一部アプリの利用ができなくなっております。ご要請のありました公民館でのスマホ教室といったような行事利用については、ご希望の利用目的に対応できるように、今年度、公民館内の会議室に別環境のWi-Fi整備を予定しております。	企画推進部	情報政策課

5. 外部評価ご感想等

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
1	ひとつくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	「カップル成立後のフォローアップ」とありますが、その様子を希望者に情報発信することが今後の2倍、3倍という高い目標設定の実現に効果を発するのだろうと考えます。	企画推進部	政策企画課
2	ひとつくり	7	保育園の待機児童数（4月1日現在）	通年での待機児童ゼロに向けて推進して行ってほしい。	健康こども部	こども家庭課
3	ひとつくり	8	保育園の待機児童数（10月1日現在）	民間事業者との連携が必要と考える。	健康こども部	こども家庭課
4	ひとつくり	10	療育事業に継続参加した幼児・保護者の満足度	高く評価されて良いと思います。引き続きよろしくお願いします。	健康こども部	こども発達支援センター
5	ひとつくり	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）	あいさつの出来ない子が多く、地域で暮らし色々な事に気付けるようになるのは基本のあいさつからではないかと思えます。ボランティアの方々にもきちんとあいさつが出来、地域で生きているという思いをなんとなくでも感じられるようになってほしいです。	教育委員会	学校教育課
6	ひとつくり	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）	実績値が年々向上しているところを評価したい。小学生にとって「社会を良くする」という実感は持ちにくいのではないかと。学校も社会の一部だということをしっかり自覚させ、自分たちで学校生活の課題を解決するプロセスを教員がしっかり支援することが大切だと考える。	教育委員会	学校教育課
7	ひとつくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（小学校）	一人一台のタブレット導入による学習の個別最適化が「授業がよくわかる」という児童の実感につながるよう授業力の向上に努めていただきたい。	教育委員会	学校教育課
8	ひとつくり	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（小学校）	学校が楽しくないと思う子供は何故なのかを考えて欲しい。大人でも会社に行きたくない日は有るし休みたい日も有るのに、子供達には頑張っていていきなさい、楽しい事あるよと言ってしまいがち。休んでも大丈夫、休んでも居場所がある事を知らせていけるように支援を続けて頂きたいです。	教育委員会	学校教育課
9	ひとつくり	21	地域学校協働本部の設置数	地域学校協働推進員にかかる負担が大きく、人材確保の難しさを自分自身が強く感じていました。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
10	しごとづくり	23	大学生県内就職率	若者、学生に対して地元企業の魅力発信の機会を官民が一体となって進めていきましょう。	経済観光部	経済雇用・戦略課
11	しごとづくり	26	市内農業産出額	目標値設定の見直しが必要ではないか。達成可能な目標設定となっており課題が見つけづらい。	農林水産部	農政企画課
12	しごとづくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	経済環境の変化により企業の投資意欲の減退が懸念される。目標達成の為のきめ細やかなニーズ把握に努められたい。	経済観光部	企業立地・支援課
13	しごとづくり	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	地元製品の販売力強化に大きく貢献している。PDCAを回し一層の商品力アップ販売強化に努められたい。	経済観光部	経済雇用・戦略課
14	しごとづくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	状況次第	経済観光部	経済雇用・戦略課
15	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	金融機関も一体となって制度の周知に努めたい。	経済観光部	企業立地・支援課
16	しごとづくり	35	農商工連携マッチング支援事業者数の累計	新たな価値創造のためには異分野の連携は不可欠。一層積極的にやりましょう。	経済観光部	企業立地・支援課
17	しごとづくり	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	円安、国際情勢から製造業等の国内回帰の可能性はあると思われる。引継ぎメニューの充実を図り、情報発信にも努められたい。	経済観光部	企業立地・支援課
18	しごとづくり	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	コロナ禍なので少しの動きでも今後につながるのではと期待。	経済観光部	企業立地・支援課
19	しごとづくり	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	行政としてのアクションプランが見えない。	経済観光部	経済雇用・戦略課
20	しごとづくり	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	要因分析と取組み方法の再検討を行うべき。	経済観光部	経済雇用・戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
21	しごとづくり	39	新規のオフィス設置数（市関与分）の累計	今後に期待	経済観光部	企業立地・支援課
22	しごとづくり	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	担当課記載コメントの方向性を支持します。	経済観光部	経済雇用・戦略課
23	しごとづくり	45	市内の新規漁業就業者数の累計	就業実数は1名だが今後を含めて期待できる状況。継続実施を。	農林水産部	林務水産課
24	しごとづくり	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	今後も期待できる市場。	農林水産部	農政企画課
25	しごとづくり	51	6次産業化取組支援件数の累計	取組支援について目標値を達成できているが、継続性や進展状況もフォローする必要がある。	農林水産部	農政企画課
26	しごとづくり	51	6次産業化取組支援件数の累計	目標値を再考すべきではありませんか？	農林水産部	農政企画課
27	しごとづくり	52	多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合	目標値低いのでは。再考すべきと思います。	農林水産部	農村整備課
28	まちづくり	54	移住定住者数	移住者の数は、ほぼ達成している。移住した人が長年定住できるよう支援してほしい。	市民生活部	地域振興課
29	まちづくり	54	移住定住者数	コロナ禍の中、移住に興味を持つ人は増えているので、目標値以上に行ってもよかったのではないかと感じた。	市民生活部	地域振興課
30	まちづくり	55	観光入込客数	観光客、移住者、定住者をコロナ前の水準まで回復するのは難しいかも知れないけど、今まで以上に努力してパーセントを上げてもらいたい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
31	まちづくり	55	観光入込客数	情報発信も、ペルソナを絞って効果的に行ってはどうかと思う。個人的には「いなば温泉郷」に砂丘温泉がPRに入っていないのがとても残念。砂丘とのコラボもできるし、温泉からの海の眺めは大きなPRポイントにもなると思う。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
32	まちづくり	56	市民愛着度	R3の実績値が出ていないので評価ができない。このような場合は内部評価の評価の目安パターンAの⑤評価対象外のような評価区分が必要ではないか。	企画推進部	地方創生・デジタル化推進室
33	まちづくり	57	地域魅力度	独創的な戦略を進めてほしい。	企画推進部	政策企画課
34	まちづくり	57	地域魅力度	鳥取の魅力を引出し、検討してもらいたい。	企画推進部	政策企画課
35	まちづくり	57	地域魅力度	取り組み状況をどのように分析しどう改善して取り組んだのか、来年度はそれを示してほしい。 情報発信に対して、幅広く行うのではなくターゲットを絞って行うことを目指してほしい。	企画推進部	政策企画課
36	まちづくり	59	移住相談登録者数	コロナ禍だからこそ安全な取組を前面に推進してもらいたい。	市民生活部	地域振興課
37	まちづくり	59	移住相談登録者数	コロナ禍での活動であり、事業は順調と考えます。	市民生活部	地域振興課
38	まちづくり	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	周知の拡大をお願いしたい。	市民生活部	地域振興課
39	まちづくり	63	観光入込客数（再掲）	にぎわい人が行き交うまちづくり、これは数年前から鳥取市のキャッチフレーズみたいになっているが、観光・文化芸術を盛り上げ活性化してもらいたい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
40	まちづくり	64	外国人宿泊者数	コロナウイルス感染症も以前ほど神経質になっておらず注意対策を講じながら回復を目指し受入の努力をしてもらいたい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
41	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	TVを持っていなくて実感として全く目に入ってこなかった。	企画推進部	政策企画課
42	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	目にした記憶がない。	企画推進部	広報室
43	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	魅力度のアップを。	企画推進部	広報室

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
44	まちづくり	68	文化芸術鑑賞者数	子どもの頃から芸術鑑賞する習慣がつくよう、子どもがポジティブに楽しめる企画を多くしてほしい。	企画推進部	文化交流課
45	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	さらなる連携強化を。	市民生活部	地域振興課
46	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	コロナ感染の増減をみて移住定住相談会への出張等は開催してもらいたい。	市民生活部	地域振興課
47	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	更なる支援を。	市民生活部	地域振興課
48	まちづくり	78・79	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日・休日）	住民の感覚としては評価Cに近い。すぐに結果が出るものではないと思うので、今後に期待したい。	都市整備部	中心市街地整備課
49	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	実効性のある取組の定着化を。	市民生活部	地域振興課
50	まちづくり	83	共助交通の導入件数	自動運転がレベル5まで達成すれば、将来解決する内容。それまでにどのように各地域の交通を支えていけるかという短期的な目標で計画を立てても良いと感じた。	都市整備部	交通政策課
51	まちづくり	84	鉄道利用者数の減少抑制	御座敷観光列車の運行や利用に係るポイント制等智恵と工夫で集客アップを。	都市整備部	交通政策課
52	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	鳥取東京間の航空運賃が高すぎる。運賃を引き下げなければ何を協力しても無駄だと思う。	都市整備部	交通政策課
53	まちづくり	87	公共Wi-Fiの拠点数	更なる促進を。	企画推進部	情報政策課
54	まちづくり	88	ネット手続きまとめサイト「e-鳥取市役所」の公開手続き数	更なる周知と普及を図りたい。	企画推進部	地方創生・デジタル化推進室
55	まちづくり	88	ネット手続きまとめサイト「e-鳥取市役所」の公開手続き数	電子申請がとても便利で助かっている。	企画推進部	地方創生・デジタル化推進室

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
56	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	コロナの感染状況を把握しながら実施するしかないと思う。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課
57	まちづくり	104	自主防災活動助成件数	防災関係は行政として一番重要なことのひとつなので、力を入れてほしい。	危機管理部	危機管理課
58	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	もう少し働きかけ範囲を拡大してもらいたい。	市民生活部	協働推進課
59	まちづくり	106	地域活動の支援	更なる周知を。	市民生活部	協働推進課
60	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	地域食堂は交流の場としては良いが、貧困者が居なくなるような行政であってほしい。本当は無いのが一番。	人権政策局	人権推進課
61	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	更なる支援を。	人権政策局	人権推進課
62	まちづくり	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	連携と周知を。	福祉部	長寿社会課
63	全般	-	全般	ほぼすべての施策が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実施が難しくなったことが残念です。	なし	なし